

平成 23 年度医療の質の評価・公表等推進事業最終報告書

団体名 社会福祉法人 恩賜財団 済生会

(平成24年3月31日時点)

1. 申請者 (略)

2. 評価・公表結果

①概要 (事業開始からの評価・公表に向けた取組の経過等)

医療の質の確保・向上に関する専門小委員会 (以下「専門小委員会」という。) を設置し、ア. 医療の質の評価・公表等推進事業 (以下「推進事業」という。) に係る指標の検討、イ. 指標にかかるデータ作成の方法、ウ. 「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」の策定、エ. 指標データの評価・公表等について検討を行った。

ア. 推進事業に係る指標は、定義を修正 (詳細: 2-⑦「当初の事業計画からの変更点及びその理由」参照) した上で、協力病院を対象にデータの収集を実施することとなった。

イ. 指標にかかるデータ作成は、厚生労働省補助対象事業として、精度の高い指標を作成する必要があること、協力病院の労力軽減を図ること等から信頼のおける外部機関に委託することとし、委託先は複数社を比較考量した結果、DPC以外のデータを使

用した指標の作成能力や経済面等について総合的に判断し、「産業医科大学ヘルスマネジメント有限責任事業組合」に委託することとなった。

ウ.「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」を策定するため、専門小委員会の下に「診療領域別指標策定のための作業班」を6班（がん（消化器）、がん（呼吸器）、虚血性心疾患、脳卒中、糖尿病、患者のQuality of Lifeが改善する指標）及び「済生会独自の指標を策定するための作業班」を1班設置した。当該作業班にて策定された指標は専門小委員会にて採用の可否を検討し、採用された指標は、平成24年度7月からデータの収集を開始することとなった。
（追加候補指標：別紙3）

エ. 専門小委員会にて指標データを評価した結果、対応を検討する程の外れ値はなく、原則どおり、全指標データを病院ごとに公表することとなった。
ただし、公表にあっては、①個人の特定を回避するため、分母が10症例以上の病院のみを公表の対象とし、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とする。②死亡率に係る2指標（急性脳梗塞患者における入院死亡率、PCIを施行した救急車搬送患者の入院死亡率）については、死亡率は患者の疾病構造や重症度などの要因によって影響を受けるため、統計的に調整することが必要であり、脳動脈の塞栓症による脳梗塞、脳幹梗塞を除外するなどの調整を行ったが、全ての要因について完全に調整することは困難であり、かつ公表による影響も大きいと思われることから、病院名を記号化するなど、専門小委員会にて公表方法を検討後に、公表することとなった。

28指標データのうち、4指標を平成24年3月30日に、本会のホームページにて公表した。その後、集計の完了した指標から順次公表し、4月27日時点で26指標を公表している。残る2指標は6月以降に公表する予定である。

平成24年度以降は、「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」の追加や、現在の指標を必要に応じて再検討するとともに、対象施設を拡大（本会全病院及び指標データ作成可能な福祉施設）させ事業を継続する。

②臨床指標の算出方法及びリスク調整方法

臨床指標等の名称	算出方法（計算式等を詳細に記載）	リスク調整方法（除外ルールを含め、調整方法を詳細に記載）	指標作成等に当たり参考とした文献・診療ガイドラインの名称
1) 入院患者の満足度	<p>入院患者の退院または転院時にアンケート調査を実施。</p> <p>分子：分母の対象患者における得点範囲1～5点。（1.大変不満、2.やや不満、3.どちらでもない、4.やや満足、5.大変満足）を合計した点数。</p> <p>分母：各対象病院における1ヶ月間の退</p>		

	<p>院患者数のうち有効回答患者数（患者家族による回答を含む）。</p> <p>収集期間：平成23年10月1日～31日の退院患者。</p>		
2) 外来患者の満足度	<p>外来患者にアンケート調査を実施。</p> <p>分子：分母の対象患者における得点範囲1～5点（1.大変不満、2.やや不満、3.どちらでもない、4.やや満足、5.大変満足）を合計した点数。</p> <p>分母：各対象病院における任意の1日間の外来患者数のうち有効回答患者数。</p> <p>収集期間：平成23年10月1日～31日の任意の1日間。</p>		
3) 公費負担医療患者の割合 (アウトカム)	<p>分子：分母のうち、公費医療が適用された患者数。</p> <p>分母：退院患者数。</p> <p>公費負担医療制度とは以下の制度とする。（法別番号）</p> <p>①感染症予防・医療法の結核治療（法別番号10、11）</p> <p>②生活保護法（12）</p> <p>③戦傷病者特別救済法（13、14）</p> <p>④障害者自立支援法（15、16、21、24）</p> <p>⑤児童福祉法（17、52、53、79）</p> <p>⑥原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（18、19）</p> <p>⑦精神保健福祉法（20）</p> <p>⑧麻薬及び向精神取締法（22）</p> <p>⑨母子保健法（養育</p>		

	<p>医療) (23)</p> <p>⑩感染症法 (28、29)</p> <p>⑪特定疾患治療事業 (51)</p> <p>⑫肝炎治療特別推進事業に係る医療の給付 (38)</p> <p>⑬中国残留邦人等の医療支援給付 (25)</p> <p>⑭心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療給付 (30)</p> <p>⑮石綿による健康被害の救済 (66)</p>		
4) 高齢者における褥瘡対策の実施率 (プロセス)	<p>分子：分母のうち、「褥瘡患者管理加算」あるいは「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」が算定された患者数。</p> <p>分母：入院時に褥瘡あるいは褥瘡の危険因子がある75歳以上(入院時)の退院患者数。</p> <p>※(施設基準を取っていない場合はNo Dataとする)</p> <p>褥瘡の危険因子は、栄養失調有、関節拘縮有、浮腫有、移乗や平地歩行で全介助のいずれかとする。</p>	<p>【除外ルール】</p> <p>片麻痺、下肢の単麻痺、四肢麻痺、無酸素脳麻痺、胸部二分脊椎、腰部二分脊椎、仙骨部二分脊椎、二分脊椎、潜在性二分脊椎のうち、いずれか1つ以上の傷病がある患者、および退院時転帰が死亡であった患者は除外。</p>	<p>国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル</p>
5) 高齢者における褥瘡の院内発生率 (アウトカム)	<p>分子：分母のうち、褥瘡対策に関する治療計画書において、NPUAP 分類にてStage II 以上、もしくはDESIGN 評価表でd2 以上と判定された院内の新規発生の褥瘡を有する患者数 (DU=測定不能は含まない)。</p> <p>分母：入院時に褥瘡あるいは褥瘡発生リスクがある75歳以上(入院時)の在院患</p>	<p>【除外ルール】</p> <p>片麻痺、下肢の単麻痺、四肢麻痺、無酸素脳麻痺、胸部二分脊椎、腰部二分脊椎、仙骨部二分脊椎、二分脊椎、潜在性二分脊椎のうち、いずれか1つ以上の傷病がある患者、および退院時転帰が死亡であった患者は除外。</p>	<p>国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル</p>

	<p>者延べ数（当該高齢患者数に当該高齢患者の総在院日数を乗じたもの）。</p> <p>褥瘡の危険因子は、栄養失調有、関節拘縮有、浮腫有、移乗や平地歩行で全介助のいずれかとする。</p>		
<p>6) 手術が施行された患者における肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 (プロセス)</p>	<p>分子：分母のうち、肺血栓塞栓症予防管理料（弾性ストッキングまたは間歇的空気圧迫装置を用いた計画的な医学管理）が算定されている、あるいは抗凝固薬（低分子量ヘパリン、低用量未分画ヘパリン、合成Xa阻害剤、用量調節ワルファリン）が処方された患者数。</p> <p>分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数。</p>	<p>【除外ルール】</p> <p>肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術のみを対象。ただし、15歳未満は除外。</p> <p>リスクレベルは『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出。</p>	<p>国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル</p>
<p>7) 手術が施行された患者における肺血栓塞栓症の院内発生率 (アウトカム)</p>	<p>分子：分母のうち、入院後発症疾患名に「肺塞栓症」が記載されている患者数</p> <p>分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数。</p>	<p>【除外ルール】</p> <p>肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術のみを対象。ただし、15歳未満は除外。</p> <p>リスクレベルは『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出。</p>	<p>国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル</p>
<p>8) 術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率 (アウトカム)</p>	<p>分子：分母のうち、入院後発症疾患名に「大腿骨転子部骨折」あるいは「大腿骨頸部骨折」が記載され、入院中の2回目以降の手術が下記いずれかを含む場</p>	<p>【除外ルール】</p> <p>医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名、主傷病名、入院の契機となった傷病名、入院時併在症名のいずれかに以</p>	<p>国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル</p>

	<p>合の患者数。</p> <p>1. 大腿骨頭回転骨切り術、2. 大腿骨近位部(転子間を含む)骨切り術、 3. 人工骨頭挿入術のいずれかが施行された患者数</p> <p>分母：手術が施行された退院患者の術後在院日数の総計(術後在院患者延べ数)。</p>	<p>下の記載がある患者は除外。</p>	
<p>9) 手術難易度分類別の患者割合 (アウトカム)</p>	<p>分子：分母のうち、手術難易度分類別の患者数</p> <p>分母：主要診断群別の手術有りの退院患者数</p> <p>主要診断群とは以下の疾患分野とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経系疾患、眼科系疾患、耳鼻咽喉科系疾患、呼吸器系疾患、循環器系疾患、消化器系疾患、筋骨格系疾患、皮膚・皮下組織の疾患、乳房の疾患、内分泌・栄養・代謝に関する疾患、腎・尿路系及び男性生殖器系疾患、女性生殖器系及び産褥期疾患・異常妊娠分娩、血液・造血器・免疫臓器の疾患、新生児疾患・先天性奇形、小児疾患、外傷・中毒・熱傷、精神疾患、その他。 		
<p>10) 急性脳梗塞患者に対する入院後3日以内の早期リハビリテーション開始率 (プロセス)</p>	<p>分子：分母のうち、入院後3日以内にリハビリが開始された患者数</p> <p>分母：医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞(I63)」で、入院時の脳梗塞の発症時期が急性期(発症4日以内)であっ</p>	<p>【除外ルール】</p> <p>入院時併存症名または入院後発症疾患名に「急性心筋梗塞」「起立性低血圧」「くも膜下出血」「脳内出血」「その他の非外傷性頭蓋内出血」のいずれか一つ以上が記載されている場</p>	<p>国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル</p>

	た退院患者のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が算定された患者数。	合は除外。	
11) 急性脳梗塞患者に対する入院翌日までの頭部CTもしくはMRIの施行率 (プロセス)	分子：分母のうち、入院当日・翌日に「CT撮影」あるいは「MRI撮影」が算定された患者数 分母：医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞(I63)」で、入院時の脳梗塞の発症時期が急性期(発症4日以内)であった退院患者数		国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル
12) 急性脳梗塞患者における入院死亡率 (アウトカム)	分子：分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数 分母：医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞(I63)」で、入院時の脳梗塞の発症時期が急性期(発症4日以内)であったJCS1桁の退院患者数。	【除外ルール】 脳動脈の塞栓症による脳梗塞、脳幹梗塞を除外。	国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル
13) 急性心筋梗塞患者に対する退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方 (プロセス)	分子：分母のうち、退院時処方でアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数。 分母：「急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞(DPCコード：050030)」の退院患者数。	【除外ルール】 ①退院時転帰が死亡であった患者、②退院先が「他院へ転院(入院)した場合」あるいは「その他(介護老人保健施設、介護老人福祉施設等への転所)」に該当する患者、③Killip分類が「Class4」であった患者を除外。	国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル
14) PCIを施行した救急車搬送患者の入院死亡率 (アウトカム)	分子：分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数 分母：救急車(病院救急車含む)で搬送され、医療資源を最も投入した傷病名が「不安定狭心症」、「急性心筋梗塞」、	【除外ルール】 ①「急性心筋梗塞」、「再発性心筋梗塞」、「その他の急性虚血性心疾患」の患者で、入院時にKillip分類が「Class3」あるいは「Class4」であった患者、②入院時	国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル

	「再発性心筋梗塞」、「その他の急性虚血性心疾患」のいずれかで、PCI（経皮的冠動脈インターベンション-「経皮的冠動脈形成術」「経皮的冠動脈粥腫切除術」「アテレクトミー」「経皮的冠動脈ステント術」）を入院当日あるいは翌日に施行した退院患者数。	点で「心停止」が認められた患者を除外。	
15) 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率（プロセス）	分子：分母のうち、「内視鏡的消化管止血術」が算定された患者数 分母：医療資源を最も投入した傷病名が「胃潰瘍」あるいは「十二指腸潰瘍」で「急性、出血を伴うもの」に該当する退院患者数		国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル
16) 人工膝関節置換手術後3日以内の早期リハビリテーション開始率（プロセス）	分子：分母のうち、手術3日以内に「運動器リハビリテーション料」が算定された患者数 分母：人工関節全置換術が施行された(DPCコード：070230xx010xx)の退院患者数（両側、片側それぞれ算定する）		国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル
17) 人工関節置換術、人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の3日以内及び7日以内中止率（プロセス）	分子：分母のうち、抗菌薬が予防的に投与され手術当日から数えて3日以内及び7日以内に中止された患者数 分母：「人工関節置換術」「人工関節再置換術」「人工骨頭挿入術」のいずれかが施行された退院		国立病院機構「医療の質の評価・公表等推進事業」における臨床評価指標計測マニュアル
18) 乳がんの患者に	分子：分母のうち、		

<p>対する乳房温存手術の施行率 (プロセス)</p>	<p>乳房温存手術として「乳腺悪性腫瘍摘出術」の「乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)」あるいは「乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの)」が行われた患者数 分母：乳がんのステージ I (TNM 分類：「T1：大きさ2cm 以下」「N0：領域リンパ節転移なし」)で「乳房切除術」あるいは「乳腺悪性腫瘍手術」が施行された退院患者数</p>		
<p>19) 胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) の施行率 (プロセス)</p>	<p>分子：分母のうち、K6532内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) が施行された患者数 分母：胃がん (ステージ I A) で胃がん手術が施行された退院患者数</p>		
<p>20) がんのステージ別入院患者割合 (アウトカム)</p>	<p>分子：分母のうち、がんのステージ別患者数 分母：がんの疾患別退院患者数 対象は以下の疾患とする ・胃がん、大腸がん (結腸・直腸、肛門管)、肺がん、乳がん、肝がん (肝細胞がん、肝内胆管がん)</p>		
<p>21) がん患者に対する緩和ケアの施行率 (プロセス)</p>	<p>分子：分母のうち、「緩和ケア診療加算」が算定された患者数 分母：医療資源を最も投入した傷病名が「がん」であり、医療資源を2番目に投入した傷病名、主傷病名、入院の契機と</p>		

	<p>なった傷病名、入院時併在症名のいずれかに以下の記載がある患者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状または不安、抑うつなどの精神症状 <p>ただし、緩和ケア病棟の入院患者は対象外とする。</p>		
22) 脳卒中地域連携パスの使用率 (プロセス)	<p>分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」が算定された患者数</p> <p>分母：医療資源を最も投入した傷病名が脳卒中（急性発症または急性増悪した脳梗塞、脳出血またはくも膜下出血）に該当する退院患者数</p>		
23) 大腿骨頸部骨折地域連携パスの使用率 (プロセス)	<p>分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」が算定された患者数</p> <p>分母：医療資源を最も投入した傷病名が大腿骨頸部骨折（大腿骨頸部骨折骨接合術、大腿骨頸部骨折人工骨頭置換術等を実施している場合に限る）に該当する退院患者数</p>		
24) 急性期病棟における退院調整の実施率 (プロセス)	<p>分子：分母のうち、「急性期病棟等退院調整加算1」または「急性期病棟等退院調整加算2」が算定された患者数</p>	【除外ルール】 退院時転帰が死亡であった患者を除外。	
25) 救急搬送患者における連携先への転院率 (プロセス)	<p>分子：分母のうち、「救急搬送患者地域連携紹介加算」が算定された患者数</p> <p>分母：救急搬送により入院した退院患者数</p>	【除外ルール】 退院時転帰が死亡であった患者を除外。	

26) 退院時共同指導の実施率 (プロセス)	分子：分母のうち、「退院時共同指導2」が算定された患者数 分母：退院患者数	【除外ルール】 転院、介護施設への転所、死亡を除外。	
27) 介護支援連携指導の実施率 (プロセス)	分子：分母のうち、「介護支援連携指導料」が算定された患者数 分母：退院患者数(65歳以上)	【除外ルール】 ①退院時転帰が死亡であった患者、②退院先が転院であった患者を除外	
28) 回復期リハビリテーション病棟退院患者の在宅復帰率 (アウトカム)	分子：分母のうち、退院先が在宅の患者数 分母：回復期リハビリテーション病棟の退院患者数 ・在宅には居宅および施設（老健除く）を含む		

③臨床指標等を用いた医療の質の評価・公表の実績（公表資料を添付するほか、下の様式に従って臨床指標ごとに記載。列が足りない場合には、列を追加するか、又は表を分けて記載）

1) 入院患者の満足度

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年10月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

入院患者の退院または転院時にアンケート調査を実施

分子：分母の対象患者における得点範囲1～5点

（5.大変満足、4.やや満足、3.どちらでもない、2.やや不満、1.大変不満）を合計した点数

分母：各対象病院における1ヶ月間の退院患者数のうち有効回答患者数（患者家族による回答を含む）

患者満足度とは、医療の質を患者側の視点で評価するものです。医療の質は治療の質とケアの質とに分けて考えることができます。医療の質は手技の確実性、信頼性、適切な情報提供、臨床判断などの要素から構成され、ケアの質は公平性、親切な対応、人間的な対処、価値の共有などの要素から構成されます。

患者満足度に関するこれまでの研究結果によると、医療者とのコミュニケーションの質が総合的な満足度に関係していることが指摘されています。患者満足度調査については、各施設で評価内容が異なっていることから、本事業では総合的満足度の結果のみを示しています。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：入院患者の満足度
- ・対象期間：平成23年10月1日～31日

医療機関コード	医療機関名	有効回答数	平均点	点数別比率5点	4点	3点	2点	1点
060113656	済生会山形済生病院	318	4.59	67.3%	26.1%	5.0%	1.6%	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	341	4.68	73.9%	21.7%	3.5%	0.6%	0.3%
096210115	済生会宇都宮病院	441	4.53	60.1%	34.0%	5.0%	0.7%	0.2%
100110144	済生会前橋病院	378	4.61	68.5%	26.5%	3.4%	1.1%	0.5%
110201350	済生会川口総合病院	288	4.48	60.1%	31.9%	5.2%	1.7%	1.0%
111101922	済生会栗橋病院	251	4.43	52.6%	40.2%	4.8%	2.4%	0.0%
120210971	済生会習志野病院	544	4.13	37.7%	41.0%	18.6%	2.4%	0.4%
130314757	済生会中央病院	269	4.46	52.0%	45.4%	0.0%	1.5%	1.1%
140105122	済生会横浜市東部病院	121	4.41	56.2%	31.4%	10.7%	0.8%	0.8%
143103439	済生会横浜市南部病院	542	4.53	59.4%	35.4%	3.5%	1.7%	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	170	4.56	59.4%	37.6%	2.9%	0.0%	0.0%
160115667	済生会富山病院	258	4.17	27.9%	61.2%	10.9%	0.0%	0.0%
160212605	済生会高岡病院	71	4.56	63.4%	31.0%	4.2%	1.4%	0.0%
170117068	済生会金沢病院	108	3.93	15.7%	62.0%	21.3%	0.9%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	305	4.57	63.0%	32.8%	3.3%	0.7%	0.3%
224160042	静岡済生会総合病院	363	4.41	51.8%	39.9%	5.8%	2.2%	0.3%
240705053	済生会松阪総合病院	124	4.53	64.5%	27.4%	4.8%	3.2%	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	104	4.30	50.0%	32.7%	15.4%	1.0%	1.0%
269700129	済生会京都府病院	385	4.37	57.7%	28.3%	8.8%	3.9%	1.3%
271607149	済生会千里病院	494	3.89	20.2%	52.6%	24.1%	2.0%	1.0%
272701586	済生会泉尾病院	139	4.33	58.3%	21.6%	15.8%	3.6%	0.7%
274205628	済生会茨木病院	279	4.54	62.7%	30.5%	5.4%	1.4%	0.0%
274900723	済生会富田林病院	169	4.49	59.2%	30.8%	10.1%	0.0%	0.0%
279600070	済生会中津病院	836	4.63	69.6%	24.5%	5.0%	0.7%	0.1%
279600120	済生会野江病院	326	4.41	62.6%	19.9%	14.4%	2.1%	0.9%
279600153	済生会吹田病院	448	4.32	42.9%	48.4%	6.9%	1.6%	0.2%
285001538	済生会兵庫県病院	198	4.55	65.2%	26.3%	7.1%	1.5%	0.0%
290102017	済生会奈良病院	73	4.10	47.9%	16.4%	32.9%	2.7%	0.0%
290401062	済生会中和病院	206	4.01	25.2%	55.8%	15.0%	2.9%	1.0%
338800012	岡山済生会総合病院	412	4.42	54.1%	36.9%	6.6%	1.9%	0.5%
343111190	済生会広島病院	136	4.45	54.4%	39.0%	4.4%	1.5%	0.7%
350116357	済生会下関総合病院	226	4.64	70.8%	23.9%	3.5%	1.8%	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	244	4.59	70.5%	22.5%	3.3%	2.9%	0.8%
401119189	済生会福岡総合病院	440	4.44	58.2%	29.8%	9.8%	2.0%	0.2%
401719020	済生会二日市病院	198	4.15	42.4%	40.9%	6.6%	9.6%	0.5%
406619050	済生会八幡総合病院	425	4.07	46.1%	31.1%	12.0%	5.4%	5.4%
438211911	済生会熊本病院	400	4.50	61.5%	27.3%	11.0%	0.0%	0.3%

2) 外来患者の満足度

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年10月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

外来患者にアンケート調査を実施

分子：分母の対象患者における得点範囲1～5点

（5.大変満足、4.やや満足、3.どちらでもない、2.やや不満、1.大変不満）を合計した点数

分母：各対象病院における任意の1日間の外来患者数のうち有効回答患者数

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

・臨床指標等の名称：外来患者の満足度

・対象期間：平成23年10月1日～31日の任意の1日間（平均的な1日を選定）

医療機関コード	医療機関名	有効回答数	平均点	点数別比率5点	4点	3点	2点	1点
060113656	済生会山形済生病院	213	4.23	41.8%	45.1%	8.5%	4.2%	0.5%
080110205	水戸済生会総合病院	476	4.24	48.9%	33.8%	11.6%	4.0%	1.7%
096210115	済生会宇都宮病院	388	4.13	34.0%	50.3%	11.3%	3.1%	1.3%
100110144	済生会前橋病院	322	4.22	53.4%	25.5%	11.8%	8.4%	0.9%
110201350	済生会川口総合病院	659	4.11	33.7%	48.7%	13.5%	3.0%	1.1%
111101922	済生会栗橋病院	914	3.99	24.5%	53.4%	18.9%	2.8%	0.3%
120210971	済生会習志野病院	531	3.93	31.8%	42.9%	13.2%	10.7%	1.3%
130314757	済生会中央病院	48	4.42	45.8%	50.0%	4.2%	0.0%	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	456	4.00	53.7%	13.4%	14.9%	14.9%	3.1%
143103439	済生会横浜市南部病院	481	4.31	45.3%	42.6%	9.8%	2.1%	0.2%
150120734	済生会新潟第二病院	365	4.25	41.4%	45.5%	10.7%	1.9%	0.5%
160115667	済生会富山病院	706	3.95	18.0%	60.2%	21.1%	0.7%	0.0%
160212605	済生会高岡病院	98	3.99	32.7%	40.8%	21.4%	3.1%	2.0%
170117068	済生会金沢病院	167	3.35	4.2%	36.5%	50.9%	7.2%	1.2%
180118909	福井県済生会病院	377	4.33	43.2%	48.0%	7.4%	1.1%	0.3%
224160042	静岡済生会総合病院	547	4.17	37.3%	45.5%	14.8%	1.6%	0.7%
240705053	済生会松阪総合病院	455	4.30	52.5%	31.6%	10.5%	3.5%	1.8%
251200194	済生会滋賀県病院	204	4.09	33.3%	47.5%	13.7%	5.4%	0.0%
269700129	済生会京都府病院	303	3.85	22.8%	42.2%	32.3%	2.3%	0.3%
271607149	済生会千里病院	346	4.58	67.1%	24.0%	8.7%	0.3%	0.0%
272701586	済生会泉尾病院	341	4.05	30.2%	48.4%	17.6%	3.5%	0.3%
274205628	済生会茨木病院	131	4.04	28.2%	51.9%	16.0%	3.1%	0.8%
274900723	済生会富田林病院	119	3.59	5.0%	58.8%	28.6%	5.0%	2.5%
279600070	済生会中津病院	351	4.19	39.6%	41.9%	17.1%	1.1%	0.3%
279600120	済生会野江病院	682	3.59	14.2%	35.0%	46.6%	3.2%	0.9%
279600153	済生会吹田病院	677	4.14	45.2%	34.1%	12.4%	6.2%	2.1%
285001538	済生会兵庫県病院	128	4.16	40.6%	38.3%	18.0%	3.1%	0.0%
290102017	済生会奈良病院	179	3.65	15.6%	39.7%	40.2%	3.4%	1.1%
290401062	済生会中和病院	339	3.64	13.0%	50.1%	27.4%	7.1%	2.4%
338800012	岡山済生会総合病院	465	3.85	32.5%	38.9%	17.0%	4.5%	7.1%
343111190	済生会広島病院	262	4.26	51.1%	33.6%	7.3%	6.1%	1.9%
350116357	済生会下関総合病院	493	4.39	53.5%	35.9%	7.7%	2.0%	0.8%
350310141	済生会山口総合病院	152	4.17	38.8%	44.1%	13.8%	2.0%	1.3%
401119189	済生会福岡総合病院	373	4.13	40.2%	39.9%	14.2%	3.8%	1.9%
401719020	済生会二日市病院	157	3.90	35.7%	26.8%	32.5%	1.9%	3.2%
406619050	済生会八幡総合病院	310	3.58	7.1%	49.7%	39.0%	2.9%	1.3%
438211911	済生会熊本病院	231	4.03	36.8%	41.6%	13.4%	3.9%	4.3%

3) 公費負担医療患者の割合

【公表日】

平成24年3月30日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、公費医療が適用された患者数

分母：退院患者数

公費負担医療制度には以下の制度がある（法別番号）。

- ①感染症予防・医療法の結核治療（法別番号10、11）
- ②生活保護法（12）
- ③戦傷病者特別救済法（13、14）
- ④障害者自立支援法（15、16、21、24）
- ⑤児童福祉法（17、52、53、79）
- ⑥原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（18、19）
- ⑦精神保健福祉法（20）
- ⑧麻薬及び向精神取締法（22）
- ⑨母子保健法（養育医療）（23）
- ⑩感染症法（28、29）
- ⑪特定疾患治療事業（51）
- ⑫肝炎治療特別推進事業に係る医療の給付（38）
- ⑬中国残留邦人等の医療支援給付（25）
- ⑭心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療給付（30）
- ⑮石綿による健康被害の救済（66）

本分析においては、レセプト種別コードの公費併用及び公費単独のレセプトを公費負担医療患者とした（巻末表1を参照）。

済生会は「生命を救う道」を広めるという理念のもと、公的な支援を必要とする患者の治療に積極的に取り組んでいます。この活動を評価する指標の一つとして、公費負担医療制度の対象となっている患者の割合を算出したものがこの指標です。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：公費負担医療患者の割合
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	4029	483	12.0%
080110205	水戸済生会総合病院	4824	1148	23.8%
096210115	済生会宇都宮病院	7561	1067	14.1%
100110144	済生会前橋病院	3515	447	12.7%
110201350	済生会川口総合病院	5141	475	9.2%
111101922	済生会栗橋病院	3458	154	4.5%
120210971	済生会習志野病院	4084	261	6.4%
130314757	済生会中央病院	5260	857	16.3%
140105122	済生会横浜市東部病院	7764	1079	13.9%
143103439	済生会横浜市南部病院	5955	666	11.2%
150120734	済生会新潟第二病院	4697	1029	21.9%
160115667	済生会富山病院	2444	45	1.8%
160212605	済生会高岡病院	2396	73	3.0%
170117068	済生会金沢病院	1469	206	14.0%
180118909	福井県済生会病院	5762	177	3.1%
224160042	静岡済生会総合病院	5473	600	11.0%
240705053	済生会松阪総合病院	3540	184	5.2%
251200194	済生会滋賀県病院	4021	628	15.6%
269700129	済生会京都府病院	2353	271	11.5%
271607149	済生会千里病院	4634	759	16.4%
272701586	済生会泉尾病院	1928	468	24.3%
274205628	済生会茨木病院	2490	754	30.3%
274900723	済生会富田林病院	1721	342	19.9%
279600070	済生会中津病院	5579	1218	21.8%
279600120	済生会野江病院	4435	931	21.0%
279600153	済生会吹田病院	5463	1437	26.3%
285001538	済生会兵庫県病院	2292	306	13.4%
290102017	済生会奈良病院	1536	188	12.2%
290401062	済生会中和病院	2408	187	7.8%
338800012	岡山済生会総合病院	6024	917	15.2%
343111190	済生会広島病院	1772	524	29.6%
350116357	済生会下関総合病院	4800	789	16.4%
350310141	済生会山口総合病院	2905	433	14.9%
401119189	済生会福岡総合病院	5447	787	14.4%
401719020	済生会二日市病院	2804	379	13.5%
406619050	済生会八幡総合病院	3620	837	23.1%
438211911	済生会熊本病院	6610	650	9.8%
	合計	150214	21756	14.5%

4) 高齢者における褥瘡対策の実施率

【公表日】

平成24年4月27日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「褥瘡患者管理加算」あるいは「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」が算定された患者数

分母：入院時に褥瘡あるいは褥瘡の危険因子がある75歳以上(入院時)の退院患者数。

褥瘡の危険因子は、栄養失調有、関節拘縮有、浮腫有、移乗や平地歩行で全介助のいずれかとする。ただし、片麻痺、下肢の単麻痺、四肢麻痺、無酸素脳麻痺、胸部二分脊椎、腰部二分脊椎、仙骨部二分脊椎、二分脊椎、潜在性二分脊椎のうち、いずれか1つ以上の傷病がある患者、および退院時転帰が死亡であった患者は除外。

褥瘡は、身体の接触面から受ける圧迫により、局所の皮膚の血流が悪くなり壊死を起こして発生する難治性の潰瘍です。急性期病院における治療では、手術室や病床において長時間同じ体位におかれることで発生することもあります。褥瘡の発生は、患者さんの療養生活の質を大きく低下させ、在院日数の長期化にもつながります。種々のリスクを持つ患者さんにおける褥瘡の発生を完全に予防することは困難です。しかしながら、褥瘡対策チームを設置し、患者さんのリスクを評価した上で適切な褥瘡対策を実施することで、褥瘡の発生率を低下させることは可能です。本指標はそのような活動を評価するものです。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：高齢者における褥瘡対策の実施率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	350	301	86.0%
080110205	水戸済生会総合病院	322	230	71.4%
096210115	済生会宇都宮病院	450	244	54.2%
100110144	済生会前橋病院	184	126	68.5%
110201350	済生会川口総合病院	149	77	51.7%
111101922	済生会栗橋病院	240	135	56.3%
120210971	済生会習志野病院	297	233	78.5%
130314757	済生会中央病院	271	183	67.5%
140105122	済生会横浜市東部病院	380	77	20.3%
143103439	済生会横浜市南部病院	197	109	55.3%
150120734	済生会新潟第二病院	226	136	60.2%
160115667	済生会富山病院	240	170	70.8%
160212605	済生会高岡病院	215	144	67.0%
170117068	済生会金沢病院	92	31	33.7%
180118909	福井県済生会病院	412	248	60.2%
224160042	静岡済生会総合病院	570	372	65.3%
240705053	済生会松阪総合病院	361	243	67.3%
251200194	済生会滋賀県病院	349	273	78.2%
269700129	済生会京都府病院	244	127	52.0%
271607149	済生会千里病院	270	209	77.4%
272701586	済生会泉尾病院	103	25	24.3%
274205628	済生会茨木病院	132	19	14.4%
274900723	済生会富田林病院	126	96	76.2%
279600070	済生会中津病院	204	47	23.0%
279600120	済生会野江病院	283	15	5.3%
279600153	済生会吹田病院	340	207	60.9%
285001538	済生会兵庫県病院	87	72	82.8%
290102017	済生会奈良病院	54	20	37.0%
290401062	済生会中和病院	236	194	82.2%
338800012	岡山済生会総合病院	551	15	2.7%
343111190	済生会広島病院	305	186	61.0%
350116357	済生会下関総合病院	299	146	48.8%
350310141	済生会山口総合病院	304	180	59.2%
401119189	済生会福岡総合病院	404	124	30.7%
401719020	済生会二日市病院	432	195	45.1%
406619050	済生会八幡総合病院	536	222	41.4%
438211911	済生会熊本病院	1373	1166	84.9%
	合計	11588	6597	56.9%

5) 高齢者における褥瘡の院内発生率

【公表日】

平成24年4月27日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、褥瘡対策に関する治療計画書において、NPUAP 分類にて Stage II 以上、もしくは DESIGN 評価表で D2 以上と判定された院内の新規発生の褥瘡を有する患者数(DU=測定不能は含まない)

分母：入院時に褥瘡あるいは褥瘡発生リスクがある 75 歳以上(入院時)の在院患者延べ数（当該高齢患者数に当該高齢患者の総在院日数を乗じたもの）。

褥瘡の危険因子は、栄養失調有、関節拘縮有、浮腫有、移乗や平地歩行で全介助のいずれかとする。ただし、片麻痺、下肢の単麻痺、四肢麻痺、無酸素脳麻痺、胸部二分脊椎、腰部二分脊椎、仙骨部二分脊椎、二分脊椎、潜在性二分脊椎のうち、いずれか1つ以上の傷病がある患者、および退院時転帰が死亡であった患者は除外。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とする。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：高齢者における褥瘡の院内発生率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	350	9	2.6%
080110205	水戸済生会総合病院	322	7	2.2%
096210115	済生会宇都宮病院	450	8	1.8%
100110144	済生会前橋病院	184		4.9%
110201350	済生会川口総合病院	149		1.3%
111101922	済生会栗橋病院	240		0.8%
120210971	済生会習志野病院	297	10	3.4%
130314757	済生会中央病院	271	16	5.9%
140105122	済生会横浜市東部病院	380	17	4.5%
143103439	済生会横浜市南部病院	197		1.5%
150120734	済生会新潟第二病院	226		0.9%
160115667	済生会富山病院	240		0.8%
160212605	済生会高岡病院	215		1.4%
170117068	済生会金沢病院	92		4.3%
180118909	福井県済生会病院	412		1.9%
224160042	静岡済生会総合病院	570	0	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	361	31	8.6%
251200194	済生会滋賀県病院	349		0.9%
269700129	済生会京都府病院	244		2.5%
271607149	済生会千里病院	270		2.2%
272701586	済生会泉尾病院	103		2.9%
274205628	済生会茨木病院	132	0	0.0%
274900723	済生会富田林病院	126	0	0.0%
279600070	済生会中津病院	204	0	0.0%
279600120	済生会野江病院	283		2.8%
279600153	済生会吹田病院	340		2.6%
285001538	済生会兵庫県病院	87	0	0.0%
290102017	済生会奈良病院	54	0	0.0%
290401062	済生会中和病院	236		1.3%
338800012	岡山済生会総合病院	551	16	2.9%
343111190	済生会広島病院	305		2.0%
350116357	済生会下関総合病院	299	12	4.0%
350310141	済生会山口総合病院	304		0.7%
401119189	済生会福岡総合病院	404		1.7%
401719020	済生会二日市病院	432		0.2%
406619050	済生会八幡総合病院	536	16	3.0%
438211911	済生会熊本病院	1373	11	0.8%
	合計	11588	242	2.1%

6) 手術が施行された患者における肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

【公表日】

平成24年3月30日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、肺血栓塞栓症予防管理料（弾性ストッキングまたは間歇的空気圧迫装置を用いた計画的な医学管理）が算定されている、あるいは抗凝固薬（低分子量ヘパリン、低用量未分画ヘパリン、合成Xa阻害剤、用量調節ワルファリン）が処方された患者数

分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）ただし、15歳未満は除外。

肺血栓塞栓症は、主に下肢の深部静脈にできた血栓（深部静脈血栓症）が血流によって運ばれ、肺動脈に閉塞を起こしてしまうもので、手術後の安静臥位がそのリスクになると考えられています。肺血栓塞栓症は、血栓の大きさや血流の障害の程度によって軽症から重症までその程度はさまざまですが、時に肺血流が途絶えて肺機能が低下し、死に至ることもあります。

多くの研究が行われた結果、肺血栓塞栓症のリスク要因が明らかになってきており、近年では危険レベルに応じて適切な対策が取られるようになってきました。具体的なものとしては、弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固薬などの薬物的予防などが「肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症予防ガイドライン」に基づいて行われています。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：手術が施行された患者における肺血栓塞栓症の予防対策の実施率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	1030	883	85.7%
080110205	水戸済生会総合病院	632	563	89.1%
096210115	済生会宇都宮病院	1344	1131	84.2%
100110144	済生会前橋病院	254	249	98.0%
110201350	済生会川口総合病院	752	725	96.4%
111101922	済生会栗橋病院	152	145	95.4%
120210971	済生会習志野病院	589	579	98.3%
130314757	済生会中央病院	660	559	84.7%
140105122	済生会横浜市東部病院	1172	884	75.4%
143103439	済生会横浜市南部病院	737	692	93.9%
150120734	済生会新潟第二病院	753	660	87.6%
160115667	済生会富山病院	306	271	88.6%
160212605	済生会高岡病院	353	331	93.8%
170117068	済生会金沢病院	256	232	90.6%
180118909	福井県済生会病院	895	839	93.7%
224160042	静岡済生会総合病院	671	600	89.4%
240705053	済生会松阪総合病院	558	495	88.7%
251200194	済生会滋賀県病院	689	669	97.1%
269700129	済生会京都府病院	269	229	85.1%
271607149	済生会千里病院	739	705	95.4%
272701586	済生会泉尾病院	86	82	95.3%
274205628	済生会茨木病院	240	111	46.3%
274900723	済生会富田林病院	188	182	96.8%
279600070	済生会中津病院	651	633	97.2%
279600120	済生会野江病院	634	547	86.3%
279600153	済生会吹田病院	696	693	99.6%
285001538	済生会兵庫県病院	332	320	96.4%
290102017	済生会奈良病院	113	101	89.4%
290401062	済生会中和病院	237	215	90.7%
338800012	岡山済生会総合病院	933	910	97.5%
343111190	済生会広島病院	189	176	93.1%
350116357	済生会下関総合病院	757	666	88.0%
350310141	済生会山口総合病院	426	314	73.7%
401119189	済生会福岡総合病院	903	825	91.4%
401719020	済生会二日市病院	255	245	96.1%
406619050	済生会八幡総合病院	440	354	80.5%
438211911	済生会熊本病院	982	832	84.7%
	合計	20873	18647	89.3%

7) 手術が施行された患者における肺血栓塞栓症の院内発生率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、入院後発症疾患名に「肺塞栓症」が記載されている患者数

分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）ただし、15歳未満は除外

肺血栓塞栓症は、呼吸困難や胸痛、動悸といった他の心肺疾患などでも現れる症状を呈するため、その診断は必ずしも容易ではありません。そのため、不幸にして亡くなられた患者さんの解剖を行って初めて肺塞栓症が発見されることもあります。

また、リスクに応じた適切な予防対策を行っていても、その発生を防ぐことができない場合があります。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに関連する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とする。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：手術が施行された患者における肺血栓塞栓症の院内発生率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	1030		0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	632		0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	1344		0.2%
100110144	済生会前橋病院	254		0.0%
110201350	済生会川口総合病院	752		0.1%
111101922	済生会栗橋病院	152		0.0%
120210971	済生会習志野病院	589		0.0%
130314757	済生会中央病院	660		0.3%
140105122	済生会横浜市東部病院	1172		0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	737		0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	753		0.1%
160115667	済生会富山病院	306		1.0%
160212605	済生会高岡病院	353	23	6.5%
170117068	済生会金沢病院	256		0.0%
180118909	福井県済生会病院	895		0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	671		0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	558		0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	689		0.1%
269700129	済生会京都府病院	269		0.0%
271607149	済生会千里病院	739		0.0%
272701586	済生会泉尾病院	86		1.2%
274205628	済生会茨木病院	240		0.0%
274900723	済生会富田林病院	188		0.0%
279600070	済生会中津病院	651		0.0%
279600120	済生会野江病院	634		0.0%
279600153	済生会吹田病院	696		0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	332		0.0%
290102017	済生会奈良病院	113		0.0%
290401062	済生会中和病院	237		0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	933		0.2%
343111190	済生会広島病院	189		0.0%
350116357	済生会下関総合病院	757		0.1%
350310141	済生会山口総合病院	426		0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	903		0.0%
401719020	済生会二日市病院	255		0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	440		0.0%
438211911	済生会熊本病院	982		0.1%
	合計	20873	39	0.2%

8) 術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率

【公表日】

平成24年3月30日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、入院後発症疾患名に「大腿骨転子部骨折」あるいは「大腿骨頸部骨折」が記載され、入院中の2回目以降の手術が下記のいずれかを含む場合の患者数。

1. 大腿骨頭回転骨切り術、2. 大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術、3. 人工骨頭挿入術のいずれかが施行された患者数

分母：手術が施行された退院患者の術後在院日数の総計（術後在院患者延べ数）。ただし、医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名、主傷病名、入院の契機となった傷病名、入院時併在症名のいずれかに以下の記載がある患者は除外

・けいれん、失神、脳卒中、昏睡、心停止、中毒、外傷、せん妄その他の精神科疾患、低酸素性脳症、リンパ腫、骨腫瘍、自傷行為による怪我

術後に、院内で転倒や転落によって骨折などが発生した場合、患者さんの療養生活の質は大きく低下し、また在院日数の延長や追加的な治療の結果、医療費も増大するなど種々の弊害が生じます。

手術を受けたこと自体が転倒・転落のリスクになりますが、加えて手術を受けた患者さんは痛みや不眠などの症状を和らげるために薬剤を投与されることがあり、さらにそのリスクが増大します。

病院では患者さんの転倒・転落事故を防ぐために、そのリスクを個別に評価し、その予防対策に努めていますが、その危険性を完全になくすことはできません。ただし、転倒・転落を起こしても骨折に至らないようにするために、その衝撃を吸収するヒッププロテクターや床材の採用など、各施設は種々の努力を行っています。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	25653	0	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	23573	0	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	35713	0	0.0%
100110144	済生会前橋病院	16898	0	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	22740	0	0.0%
111101922	済生会栗橋病院	11725	0	0.0%
120210971	済生会習志野病院	19656	0	0.0%
130314757	済生会中央病院	24925	0	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	29396	0	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	24131	0	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	23514	0	0.0%
160115667	済生会富山病院	8392	0	0.0%
160212605	済生会高岡病院	10999	0	0.0%
170117068	済生会金沢病院	7517	0	0.0%
180118909	福井県済生会病院	27866	0	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	23284	0	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	18114	0	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	17748	0	0.0%
269700129	済生会京都府病院	9156	0	0.0%
271607149	済生会千里病院	20524	0	0.0%
272701586	済生会泉尾病院	8455	0	0.0%
274205628	済生会茨木病院	8733	0	0.0%
274900723	済生会富田林病院	10553	0	0.0%
279600070	済生会中津病院	30358	0	0.0%
279600120	済生会野江病院	23347	0	0.0%
279600153	済生会吹田病院	23382	0	0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	7472	0	0.0%
290102017	済生会奈良病院	5053	0	0.0%
290401062	済生会中和病院	10486	0	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	32002	0	0.0%
343111190	済生会広島病院	6335	0	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	24767	0	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	17643	0	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	23144	0	0.0%
401719020	済生会二日市病院	12393	0	0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	17301	0	0.0%
438211911	済生会熊本病院	28871	0	0.0%
	合計	691819	0	0.0%

9) 手術難易度分類別の患者割合

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、手術難易度分類別の患者数

分母：主要診断群別の手術有りの退院患者数

主要診断群とは以下の疾患分野

・神経系疾患（MDC01）、眼科系疾患（MDC02）、耳鼻咽喉科系疾患（MDC03）、呼吸器系疾患（MDC04）、循環器系疾患（MDC05）、消化器系疾患（MDC06）、筋骨格系疾患（MDC07）、皮膚・皮下組織の疾患（MDC08）、乳房の疾患（MDC09）、内分泌・栄養・代謝に関する疾患（MDC10）、腎・尿路系及び男性生殖器系疾患（MDC11）、女性生殖器系及び産褥期疾患・異常妊娠分娩（MDC12）、血液・造血器・免疫臓器の疾患（MDC13）、新生児疾患・先天性奇形（MDC14）、小児疾患（MDC15）、外傷・中毒・熱傷（MDC16）、精神疾患（MDC17）、その他（MDC18）

外科系学会社会保険委員会連合（外保連）は、外科的手技の技術的評価を目的として、各手技の難易度評価を行っています。具体的には、手術技術度区分（技術の難しさ）、手術直接協力者数（何人のチームで手術を行うのか）、手術所要時間などを勘案しながら難易度をA（初期臨床研修医レベル）、B（初期臨床研修修了者レベル）、C（基本領域の専門医レベル）、D（Subspecialty 領域の専門医もしくは基本領域の専門医更新者や指導医取得者レベル）、E（特殊技術を有する専門医レベル）の区分で設定しています。

本評価事業ではDPCにおける主要診断群別に、各患者さんがどのような難易度の手術を受けたのかを分析し、その結果を示しました（B～Eのみ）。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：手術難易度分類別の患者割合
- ・対象期間：平成23年7月～12月

－神経系疾患（MDC01）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	
060113656	済生会山形済生病院	24	1	4	19	0	4.2%	16.7%	79.2%	0.0%	
080110205	水戸済生会総合病院	26	3	4	16	3	11.5%	15.4%	61.5%	11.5%	
096210115	済生会宇都宮病院	69	7	8	41	13	10.1%	11.6%	59.4%	18.8%	
110201350	済生会川口総合病院	39	4	4	26	5	10.3%	10.3%	66.7%	12.8%	
111101922	済生会栗橋病院	23	2	1	16	4	8.7%	4.3%	69.6%	17.4%	
120210971	済生会習志野病院	12	0	2	10	0	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	
130314757	済生会中央病院	48	3	11	30	4	6.3%	22.9%	62.5%	8.3%	
140105122	済生会横浜市東部病院	123	4	31	71	17	3.3%	25.2%	57.7%	13.8%	
143103439	済生会横浜市南部病院	47	5	8	27	7	10.6%	17.0%	57.4%	14.9%	
150120734	済生会新潟第二病院	19	0	1	18	0	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	
160115667	済生会富山病院	56	7	4	42	3	12.5%	7.1%	75.0%	5.4%	
160212605	済生会高岡病院	18	1	6	11	0	5.6%	33.3%	61.1%	0.0%	
180118909	福井県済生会病院	43	0	5	31	7	0.0%	11.6%	72.1%	16.3%	
224160042	静岡済生会総合病院	54	2	21	29	2	3.7%	38.9%	53.7%	3.7%	
240705053	済生会松阪総合病院	57	1	8	34	14	1.8%	14.0%	59.6%	24.6%	
251200194	済生会滋賀県病院	80	3	12	46	19	3.8%	15.0%	57.5%	23.8%	
269700129	済生会京都府病院	36	2	15	16	3	5.6%	41.7%	44.4%	8.3%	
271607149	済生会千里病院	14	1	5	8	0	7.1%	35.7%	57.1%	0.0%	
272701586	済生会泉尾病院	10	0	4	4	2	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	
279600070	済生会中津病院	23	1	1	15	6	4.3%	4.3%	65.2%	26.1%	
279600120	済生会野江病院	52	5	1	36	10	9.6%	1.9%	69.2%	19.2%	
290401062	済生会中和病院	30	2	1	15	12	6.7%	3.3%	50.0%	40.0%	
338800012	岡山済生会総合病院	42	3	3	26	10	7.1%	7.1%	61.9%	23.8%	
350116357	済生会下関総合病院	24	1	4	16	3	4.2%	16.7%	66.7%	12.5%	
350310141	済生会山口総合病院	25	7	0	16	2	28.0%	0.0%	64.0%	8.0%	
401119189	済生会福岡総合病院	111	4	9	79	19	3.6%	8.1%	71.2%	17.1%	
401719020	済生会二日市病院	63	1	13	39	10	1.6%	20.6%	61.9%	15.9%	
406619050	済生会八幡総合病院	195	4	10	125	56	2.1%	5.1%	64.1%	28.7%	
438211911	済生会熊本病院	143	6	12	106	19	4.2%	8.4%	74.1%	13.3%	
	合計	1506	80	208	968	250	5.3%	13.8%	64.3%	16.6%	

* 分母が10症例未満の病院数：5

－眼科系疾患（MDC02）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	
060113656	済生会山形済生病院	165	0	23	142	0	0.0%	13.9%	86.1%	0.0%	
080110205	水戸済生会総合病院	224	0	19	204	1	0.0%	8.5%	91.1%	0.4%	
096210115	済生会宇都宮病院	253	0	4	249	0	0.0%	1.6%	98.4%	0.0%	
100110144	済生会前橋病院	98	0	0	98	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
110201350	済生会川口総合病院	355	0	2	353	0	0.0%	0.6%	99.4%	0.0%	
111101922	済生会栗橋病院	86	0	5	81	0	0.0%	5.8%	94.2%	0.0%	
120210971	済生会習志野病院	166	0	0	166	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
130314757	済生会中央病院	159	0	0	159	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
140105122	済生会横浜市東部病院	51	0	0	51	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
143103439	済生会横浜市南部病院	314	0	2	312	0	0.0%	0.6%	99.4%	0.0%	
150120734	済生会新潟第二病院	287	0	5	282	0	0.0%	1.7%	98.3%	0.0%	
160115667	済生会富山病院	89	0	7	82	0	0.0%	7.9%	92.1%	0.0%	
160212605	済生会高岡病院	45	0	0	45	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
170117068	済生会金沢病院	43	0	0	43	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
180118909	福井県済生会病院	265	0	10	255	0	0.0%	3.8%	96.2%	0.0%	
224160042	静岡済生会総合病院	343	2	18	323	0	0.6%	5.2%	94.2%	0.0%	
240705053	済生会松阪総合病院	74	0	0	74	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
251200194	済生会滋賀県病院	198	0	2	196	0	0.0%	1.0%	99.0%	0.0%	
269700129	済生会京都府病院	170	0	1	169	0	0.0%	0.6%	99.4%	0.0%	
272701586	済生会泉尾病院	83	0	0	83	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
274205628	済生会茨木病院	49	0	0	49	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
274900723	済生会富田林病院	186	0	3	183	0	0.0%	1.6%	98.4%	0.0%	
279600070	済生会中津病院	266	0	5	261	0	0.0%	1.9%	98.1%	0.0%	
279600120	済生会野江病院	396	0	7	389	0	0.0%	1.8%	98.2%	0.0%	
279600153	済生会吹田病院	139	1	0	138	0	0.7%	0.0%	99.3%	0.0%	
285001538	済生会兵庫県病院	51	0	0	51	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
290102017	済生会奈良病院	127	0	1	126	0	0.0%	0.8%	99.2%	0.0%	
290401062	済生会中和病院	76	0	1	75	0	0.0%	1.3%	98.7%	0.0%	
338800012	岡山済生会総合病院	410	0	6	404	0	0.0%	1.5%	98.5%	0.0%	
350116357	済生会下関総合病院	66	0	14	51	1	0.0%	21.2%	77.3%	1.5%	
401119189	済生会福岡総合病院	115	0	6	109	0	0.0%	5.2%	94.8%	0.0%	
406619050	済生会八幡総合病院	123	0	3	120	0	0.0%	2.4%	97.6%	0.0%	
	合計	5472	3	144	5323	2	0.1%	2.6%	97.3%	0.0%	

* 分母が10症例未満の病院数：2

－耳鼻咽喉科系疾患（MDC03）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	
096210115	済生会宇都宮病院	184	45	35	101	3	24.5%	19.0%	54.9%	1.6%	
110201350	済生会川口総合病院	74	30	19	25	0	40.5%	25.7%	33.8%	0.0%	
111101922	済生会栗橋病院	31	7	13	11	0	22.6%	41.9%	35.5%	0.0%	
130314757	済生会中央病院	64	13	15	35	1	20.3%	23.4%	54.7%	1.6%	
140105122	済生会横浜市東部病院	36	6	0	30	0	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	
143103439	済生会横浜市南部病院	134	43	38	53	0	32.1%	28.4%	39.6%	0.0%	
150120734	済生会新潟第二病院	21	8	6	7	0	38.1%	28.6%	33.3%	0.0%	
160212605	済生会高岡病院	27	6	9	12	0	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%	
180118909	福井県済生会病院	172	35	39	98	0	20.3%	22.7%	57.0%	0.0%	
224160042	静岡済生会総合病院	73	23	26	24	0	31.5%	35.6%	32.9%	0.0%	
251200194	済生会滋賀県病院	55	22	16	17	0	40.0%	29.1%	30.9%	0.0%	
269700129	済生会京都府病院	31	5	13	13	0	16.1%	41.9%	41.9%	0.0%	
279600070	済生会中津病院	114	18	22	71	3	15.8%	19.3%	62.3%	2.6%	
279600120	済生会野江病院	56	13	7	36	0	23.2%	12.5%	64.3%	0.0%	
279600153	済生会吹田病院	50	28	7	15	0	56.0%	14.0%	30.0%	0.0%	
285001538	済生会兵庫県病院	39	15	19	5	0	38.5%	48.7%	12.8%	0.0%	
290401062	済生会中和病院	44	31	8	5	0	70.5%	18.2%	11.4%	0.0%	
338800012	岡山済生会総合病院	96	28	23	44	1	29.2%	24.0%	45.8%	1.0%	
350116357	済生会下関総合病院	24	11	5	8	0	45.8%	20.8%	33.3%	0.0%	
350310141	済生会山口総合病院	76	12	17	47	0	15.8%	22.4%	61.8%	0.0%	
401119189	済生会福岡総合病院	135	45	27	63	0	33.3%	20.0%	46.7%	0.0%	
406619050	済生会八幡総合病院	10	4	1	5	0	40.0%	10.0%	50.0%	0.0%	
	合計	1546	448	365	725	8	29.0%	23.6%	46.9%	0.5%	

* 分母が10症例未満の病院数：9

－呼吸器系疾患（MDC04）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%			
		計	B	C	D	E	B	C	D	E
060113656	済生会山形済生病院	34	1	5	28	0	2.9%	14.7%	82.4%	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	37	0	4	33	0	0.0%	10.8%	89.2%	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	114	3	8	103	0	2.6%	7.0%	90.4%	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	20	5	2	12	1	25.0%	10.0%	60.0%	5.0%
111101922	済生会栗橋病院	31	0	5	26	0	0.0%	16.1%	83.9%	0.0%
130314757	済生会中央病院	95	5	13	77	0	5.3%	13.7%	81.1%	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	69	4	11	54	0	5.8%	15.9%	78.3%	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	26	2	1	23	0	7.7%	3.8%	88.5%	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	41	2	2	37	0	4.9%	4.9%	90.2%	0.0%
160212605	済生会高岡病院	20	5	2	13	0	25.0%	10.0%	65.0%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	107	4	17	86	0	3.7%	15.9%	80.4%	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	14	2	1	11	0	14.3%	7.1%	78.6%	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	40	3	16	21	0	7.5%	40.0%	52.5%	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	14	0	2	12	0	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
269700129	済生会京都府病院	13	1	1	11	0	7.7%	7.7%	84.6%	0.0%
271607149	済生会千里病院	29	2	10	17	0	6.9%	34.5%	58.6%	0.0%
272701586	済生会泉尾病院	15	1	3	11	0	6.7%	20.0%	73.3%	0.0%
274900723	済生会富田林病院	15	2	7	6	0	13.3%	46.7%	40.0%	0.0%
279600070	済生会中津病院	60	5	5	50	0	8.3%	8.3%	83.3%	0.0%
279600120	済生会野江病院	43	2	5	36	0	4.7%	11.6%	83.7%	0.0%
279600153	済生会吹田病院	62	2	8	52	0	3.2%	12.9%	83.9%	0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	47	3	4	40	0	6.4%	8.5%	85.1%	0.0%
290401062	済生会中和病院	11	3	2	6	0	27.3%	18.2%	54.5%	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	108	17	4	87	0	15.7%	3.7%	80.6%	0.0%
343111190	済生会広島病院	28	1	4	23	0	3.6%	14.3%	82.1%	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	67	0	11	56	0	0.0%	16.4%	83.6%	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	58	2	7	49	0	3.4%	12.1%	84.5%	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	109	2	7	100	0	1.8%	6.4%	91.7%	0.0%
401719020	済生会二日市病院	32	1	2	29	0	3.1%	6.3%	90.6%	0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	25	0	4	21	0	0.0%	16.0%	84.0%	0.0%
438211911	済生会熊本病院	130	4	22	104	0	3.1%	16.9%	80.0%	0.0%
	合計	1514	84	195	1234	1	5.5%	12.9%	81.5%	0.1%

* 分母が10症例未満の病院数：32

－循環器系疾患（MDC05）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	
060113656	済生会山形済生病院	105	4	23	78	0	3.8%	21.9%	74.3%	0.0%	
080110205	水戸済生会総合病院	305	23	46	235	1	7.5%	15.1%	77.0%	0.3%	
096210115	済生会宇都宮病院	396	55	30	309	2	13.9%	7.6%	78.0%	0.5%	
100110144	済生会前橋病院	187	12	14	161	0	6.4%	7.5%	86.1%	0.0%	
110201350	済生会川口総合病院	166	11	35	120	0	6.6%	21.1%	72.3%	0.0%	
111101922	済生会栗橋病院	211	18	20	173	0	8.5%	9.5%	82.0%	0.0%	
120210971	済生会習志野病院	162	14	9	139	0	8.6%	5.6%	85.8%	0.0%	
130314757	済生会中央病院	170	10	12	147	1	5.9%	7.1%	86.5%	0.6%	
140105122	済生会横浜市東部病院	831	30	26	770	5	3.6%	3.1%	92.7%	0.6%	
143103439	済生会横浜市南部病院	273	24	23	226	0	8.8%	8.4%	82.8%	0.0%	
150120734	済生会新潟第二病院	190	19	51	118	2	10.0%	26.8%	62.1%	1.1%	
160115667	済生会富山病院	64	6	4	54	0	9.4%	6.3%	84.4%	0.0%	
160212605	済生会高岡病院	47	6	6	35	0	12.8%	12.8%	74.5%	0.0%	
170117068	済生会金沢病院	24	0	10	14	0	0.0%	41.7%	58.3%	0.0%	
180118909	福井県済生会病院	146	17	10	119	0	11.6%	6.8%	81.5%	0.0%	
224160042	静岡済生会総合病院	246	15	46	185	0	6.1%	18.7%	75.2%	0.0%	
240705053	済生会松阪総合病院	82	12	5	65	0	14.6%	6.1%	79.3%	0.0%	
251200194	済生会滋賀県病院	120	17	4	99	0	14.2%	3.3%	82.5%	0.0%	
269700129	済生会京都府病院	50	11	5	34	0	22.0%	10.0%	68.0%	0.0%	
271607149	済生会千里病院	183	16	15	152	0	8.7%	8.2%	83.1%	0.0%	
272701586	済生会泉尾病院	323	11	16	296	0	3.4%	5.0%	91.6%	0.0%	
274205628	済生会茨木病院	67	1	2	64	0	1.5%	3.0%	95.5%	0.0%	
274900723	済生会富田林病院	31	4	3	24	0	12.9%	9.7%	77.4%	0.0%	
279600070	済生会中津病院	197	18	8	171	0	9.1%	4.1%	86.8%	0.0%	
279600120	済生会野江病院	263	21	16	224	2	8.0%	6.1%	85.2%	0.8%	
279600153	済生会吹田病院	170	11	53	106	0	6.5%	31.2%	62.4%	0.0%	
285001538	済生会兵庫県病院	54	7	2	45	0	13.0%	3.7%	83.3%	0.0%	
338800012	岡山済生会総合病院	63	7	8	48	0	11.1%	12.7%	76.2%	0.0%	
343111190	済生会広島病院	57	9	2	46	0	15.8%	3.5%	80.7%	0.0%	
350116357	済生会下関総合病院	190	23	27	138	2	12.1%	14.2%	72.6%	1.1%	
350310141	済生会山口総合病院	288	23	73	191	1	8.0%	25.3%	66.3%	0.3%	
401119189	済生会福岡総合病院	503	23	78	396	6	4.6%	15.5%	78.7%	1.2%	
401719020	済生会二日市病院	149	19	20	110	0	12.8%	13.4%	73.8%	0.0%	
406619050	済生会八幡総合病院	57	11	7	39	0	19.3%	12.3%	68.4%	0.0%	
438211911	済生会熊本病院	913	65	81	755	12	7.1%	8.9%	82.7%	1.3%	
	合計	7283	573	790	5886	34	7.9%	10.8%	80.8%	0.5%	

* 分母が10症例未満の病院数：1

－ 消化器系疾患（MDC06） －

医療機関コード	医療機関名	件数					%			
		計	B	C	D	E	B	C	D	E
060113656	済生会山形済生病院	386	8	96	282	0	2.1%	24.9%	73.1%	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	544	9	165	370	0	1.7%	30.3%	68.0%	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	826	6	266	552	2	0.7%	32.2%	66.8%	0.2%
100110144	済生会前橋病院	642	6	167	464	5	0.9%	26.0%	72.3%	0.8%
110201350	済生会川口総合病院	523	3	174	346	0	0.6%	33.3%	66.2%	0.0%
111101922	済生会栗橋病院	569	6	146	417	0	1.1%	25.7%	73.3%	0.0%
120210971	済生会習志野病院	372	3	111	258	0	0.8%	29.8%	69.4%	0.0%
130314757	済生会中央病院	532	21	171	340	0	3.9%	32.1%	63.9%	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	832	6	247	579	0	0.7%	29.7%	69.6%	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	689	5	243	441	0	0.7%	35.3%	64.0%	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	642	15	303	324	0	2.3%	47.2%	50.5%	0.0%
160115667	済生会富山病院	236	3	59	174	0	1.3%	25.0%	73.7%	0.0%
160212605	済生会高岡病院	289	5	55	229	0	1.7%	19.0%	79.2%	0.0%
170117068	済生会金沢病院	300	10	50	240	0	3.3%	16.7%	80.0%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	895	44	296	554	1	4.9%	33.1%	61.9%	0.1%
224160042	静岡済生会総合病院	342	5	138	199	0	1.5%	40.4%	58.2%	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	440	10	115	315	0	2.3%	26.1%	71.6%	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	414	19	147	247	1	4.6%	35.5%	59.7%	0.2%
269700129	済生会京都府病院	194	6	71	117	0	3.1%	36.6%	60.3%	0.0%
271607149	済生会千里病院	756	31	231	494	0	4.1%	30.6%	65.3%	0.0%
272701586	済生会泉尾病院	170	8	47	115	0	4.7%	27.6%	67.6%	0.0%
274205628	済生会茨木病院	271	5	70	196	0	1.8%	25.8%	72.3%	0.0%
274900723	済生会富田林病院	226	6	57	163	0	2.7%	25.2%	72.1%	0.0%
279600070	済生会中津病院	868	13	189	663	3	1.5%	21.8%	76.4%	0.3%
279600120	済生会野江病院	559	28	209	320	2	5.0%	37.4%	57.2%	0.4%
279600153	済生会吹田病院	694	16	226	452	0	2.3%	32.6%	65.1%	0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	214	4	100	110	0	1.9%	46.7%	51.4%	0.0%
290102017	済生会奈良病院	168	10	79	78	1	6.0%	47.0%	46.4%	0.6%
290401062	済生会中和病院	288	12	107	169	0	4.2%	37.2%	58.7%	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	1274	8	289	972	5	0.6%	22.7%	76.3%	0.4%
343111190	済生会広島病院	285	3	38	244	0	1.1%	13.3%	85.6%	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	550	7	171	372	0	1.3%	31.1%	67.6%	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	274	4	96	174	0	1.5%	35.0%	63.5%	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	556	7	145	403	1	1.3%	26.1%	72.5%	0.2%
401719020	済生会二日市病院	375	7	123	245	0	1.9%	32.8%	65.3%	0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	492	13	76	402	1	2.6%	15.4%	81.7%	0.2%
438211911	済生会熊本病院	999	5	269	725	0	0.5%	26.9%	72.6%	0.0%
	合計	18686	377	5542	12745	22	2.0%	29.7%	68.2%	0.1%

* 分母が10症例未満の病院数：0

－ 筋骨格系疾患（MDC07） －

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	
060113656	済生会山形済生病院	499	3	20	475	1	0.6%	4.0%	95.2%	0.2%	
080110205	水戸済生会総合病院	163	0	20	143	0	0.0%	12.3%	87.7%	0.0%	
096210115	済生会宇都宮病院	203	2	18	183	0	1.0%	8.9%	90.1%	0.0%	
100110144	済生会前橋病院	78	2	35	41	0	2.6%	44.9%	52.6%	0.0%	
110201350	済生会川口総合病院	338	3	7	328	0	0.9%	2.1%	97.0%	0.0%	
120210971	済生会習志野病院	218	7	9	202	0	3.2%	4.1%	92.7%	0.0%	
130314757	済生会中央病院	216	8	30	178	0	3.7%	13.9%	82.4%	0.0%	
140105122	済生会横浜市東部病院	230	3	27	199	1	1.3%	11.7%	86.5%	0.4%	
143103439	済生会横浜市南部病院	171	2	21	148	0	1.2%	12.3%	86.5%	0.0%	
150120734	済生会新潟第二病院	108	1	7	100	0	0.9%	6.5%	92.6%	0.0%	
160115667	済生会富山病院	82	1	1	80	0	1.2%	1.2%	97.6%	0.0%	
160212605	済生会高岡病院	169	2	7	160	0	1.2%	4.1%	94.7%	0.0%	
170117068	済生会金沢病院	177	1	20	156	0	0.6%	11.3%	88.1%	0.0%	
180118909	福井県済生会病院	184	4	20	159	1	2.2%	10.9%	86.4%	0.5%	
224160042	静岡済生会総合病院	143	2	18	123	0	1.4%	12.6%	86.0%	0.0%	
240705053	済生会松阪総合病院	115	1	17	97	0	0.9%	14.8%	84.3%	0.0%	
251200194	済生会滋賀県病院	166	0	18	148	0	0.0%	10.8%	89.2%	0.0%	
269700129	済生会京都府病院	23	1	3	18	1	4.3%	13.0%	78.3%	4.3%	
271607149	済生会千里病院	108	2	16	90	0	1.9%	14.8%	83.3%	0.0%	
274205628	済生会茨木病院	74	0	7	67	0	0.0%	9.5%	90.5%	0.0%	
274900723	済生会富田林病院	48	1	4	43	0	2.1%	8.3%	89.6%	0.0%	
279600070	済生会中津病院	179	1	21	157	0	0.6%	11.7%	87.7%	0.0%	
279600120	済生会野江病院	94	3	12	79	0	3.2%	12.8%	84.0%	0.0%	
279600153	済生会吹田病院	83	4	10	69	0	4.8%	12.0%	83.1%	0.0%	
285001538	済生会兵庫県病院	25	1	5	19	0	4.0%	20.0%	76.0%	0.0%	
290102017	済生会奈良病院	23	0	3	20	0	0.0%	13.0%	87.0%	0.0%	
290401062	済生会中和病院	45	2	4	39	0	4.4%	8.9%	86.7%	0.0%	
338800012	岡山済生会総合病院	170	3	29	137	1	1.8%	17.1%	80.6%	0.6%	
343111190	済生会広島病院	49	3	7	39	0	6.1%	14.3%	79.6%	0.0%	
350116357	済生会下関総合病院	261	1	53	207	0	0.4%	20.3%	79.3%	0.0%	
350310141	済生会山口総合病院	159	3	6	150	0	1.9%	3.8%	94.3%	0.0%	
401119189	済生会福岡総合病院	80	1	24	55	0	1.3%	30.0%	68.8%	0.0%	
401719020	済生会二日市病院	24	3	11	10	0	12.5%	45.8%	41.7%	0.0%	
406619050	済生会八幡総合病院	91	1	12	77	1	1.1%	13.2%	84.6%	1.1%	
438211911	済生会熊本病院	89	3	12	74	0	3.4%	13.5%	83.1%	0.0%	
	合計	4885	75	534	4270	6	1.5%	10.9%	87.4%	0.1%	

* 分母が10症例未満の病院数：2

－皮膚・皮下組織の疾患（MDC08）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%			
		計	B	C	D	E	B	C	D	E
080110205	水戸済生会総合病院	27	4	14	9	0	14.8%	51.9%	33.3%	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	26	3	12	11	0	11.5%	46.2%	42.3%	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	17	3	4	10	0	17.6%	23.5%	58.8%	0.0%
130314757	済生会中央病院	27	8	9	10	0	29.6%	33.3%	37.0%	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	23	3	6	14	0	13.0%	26.1%	60.9%	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	25	6	13	6	0	24.0%	52.0%	24.0%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	38	1	3	34	0	2.6%	7.9%	89.5%	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	21	7	8	6	0	33.3%	38.1%	28.6%	0.0%
274900723	済生会富田林病院	31	3	13	15	0	9.7%	41.9%	48.4%	0.0%
279600070	済生会中津病院	41	5	16	20	0	12.2%	39.0%	48.8%	0.0%
279600120	済生会野江病院	24	8	12	4	0	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
279600153	済生会吹田病院	12	5	4	3	0	41.7%	33.3%	25.0%	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	33	2	12	19	0	6.1%	36.4%	57.6%	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	21	3	6	12	0	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	31	5	17	9	0	16.1%	54.8%	29.0%	0.0%
401719020	済生会二日市病院	16	0	3	13	0	0.0%	18.8%	81.3%	0.0%
	合計	413	66	152	195	0	16.0%	36.8%	47.2%	0.0%

* 分母が10症例未満の病院数：21

－乳房の疾患（MDC09）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%			
		計	B	C	D	E	B	C	D	E
060113656	済生会山形済生病院	18	0	4	14	0	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	13	0	2	11	0	0.0%	15.4%	84.6%	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	65	2	3	60	0	3.1%	4.6%	92.3%	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	16	0	1	15	0	0.0%	6.3%	93.8%	0.0%
120210971	済生会習志野病院	15	0	2	13	0	0.0%	13.3%	86.7%	0.0%
130314757	済生会中央病院	33	0	1	32	0	0.0%	3.0%	97.0%	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	57	0	3	54	0	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	79	14	10	55	0	17.7%	12.7%	69.6%	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	33	0	1	32	0	0.0%	3.0%	97.0%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	89	1	0	88	0	1.1%	0.0%	98.9%	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	28	0	4	24	0	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	16	0	1	15	0	0.0%	6.3%	93.8%	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	20	2	2	16	0	10.0%	10.0%	80.0%	0.0%
269700129	済生会京都府病院	19	0	4	15	0	0.0%	21.1%	78.9%	0.0%
271607149	済生会千里病院	43	0	6	37	0	0.0%	14.0%	86.0%	0.0%
274900723	済生会富田林病院	14	0	0	14	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
279600070	済生会中津病院	44	1	4	39	0	2.3%	9.1%	88.6%	0.0%
279600120	済生会野江病院	37	0	5	32	0	0.0%	13.5%	86.5%	0.0%
279600153	済生会吹田病院	17	0	0	17	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
290401062	済生会中和病院	32	0	2	30	0	0.0%	6.3%	93.8%	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	43	0	1	42	0	0.0%	2.3%	97.7%	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	15	0	1	14	0	0.0%	6.7%	93.3%	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	52	1	6	45	0	1.9%	11.5%	86.5%	0.0%
438211911	済生会熊本病院	27	0	1	26	0	0.0%	3.7%	96.3%	0.0%
	合計	825	21	64	740	0	2.5%	7.8%	89.7%	0.0%

* 分母が10症例未満の病院数：11

－内分泌・栄養・代謝に関する疾患（MDC10）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%			
		計	B	C	D	E	B	C	D	E
060113656	済生会山形済生病院	14	1	3	10	0	7.1%	21.4%	71.4%	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	27	1	5	21	0	3.7%	18.5%	77.8%	0.0%
130314757	済生会中央病院	18	6	2	9	1	33.3%	11.1%	50.0%	5.6%
140105122	済生会横浜市東部病院	19	1	1	13	4	5.3%	5.3%	68.4%	21.1%
143103439	済生会横浜市南部病院	66	1	18	47	0	1.5%	27.3%	71.2%	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	16	1	3	12	0	6.3%	18.8%	75.0%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	23	0	9	14	0	0.0%	39.1%	60.9%	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	14	0	7	6	1	0.0%	50.0%	42.9%	7.1%
240705053	済生会松阪総合病院	20	2	3	14	1	10.0%	15.0%	70.0%	5.0%
251200194	済生会滋賀県病院	13	0	3	9	1	0.0%	23.1%	69.2%	7.7%
269700129	済生会京都府病院	14	0	4	9	1	0.0%	28.6%	64.3%	7.1%
271607149	済生会千里病院	14	0	4	10	0	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
274900723	済生会富田林病院	12	1	1	10	0	8.3%	8.3%	83.3%	0.0%
279600070	済生会中津病院	30	1	9	18	2	3.3%	30.0%	60.0%	6.7%
279600120	済生会野江病院	21	2	3	12	4	9.5%	14.3%	57.1%	19.0%
338800012	岡山済生会総合病院	28	1	11	15	1	3.6%	39.3%	53.6%	3.6%
350310141	済生会山口総合病院	10	0	7	3	0	0.0%	70.0%	30.0%	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	28	2	12	12	2	7.1%	42.9%	42.9%	7.1%
406619050	済生会八幡総合病院	22	1	0	17	4	4.5%	0.0%	77.3%	18.2%
438211911	済生会熊本病院	29	2	2	23	2	6.9%	6.9%	79.3%	6.9%
	合計	438	23	107	284	24	5.3%	24.4%	64.8%	5.5%

* 分母が10症例未満の病院数：17

－腎・尿路系及び男性生殖器系疾患（MDC11）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%			
		計	B	C	D	E	B	C	D	E
060113656	済生会山形済生病院	27	0	9	18	0	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	137	4	79	54	0	2.9%	57.7%	39.4%	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	277	11	100	166	0	4.0%	36.1%	59.9%	0.0%
100110144	済生会前橋病院	16	6	4	6	0	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	248	11	140	97	0	4.4%	56.5%	39.1%	0.0%
111101922	済生会栗橋病院	164	6	104	54	0	3.7%	63.4%	32.9%	0.0%
120210971	済生会習志野病院	202	11	72	119	0	5.4%	35.6%	58.9%	0.0%
130314757	済生会中央病院	255	12	133	110	0	4.7%	52.2%	43.1%	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	210	12	70	128	0	5.7%	33.3%	61.0%	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	148	10	59	79	0	6.8%	39.9%	53.4%	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	299	6	46	247	0	2.0%	15.4%	82.6%	0.0%
160115667	済生会富山病院	61	3	37	21	0	4.9%	60.7%	34.4%	0.0%
160212605	済生会高岡病院	35	7	12	16	0	20.0%	34.3%	45.7%	0.0%
170117068	済生会金沢病院	25	2	12	11	0	8.0%	48.0%	44.0%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	141	7	46	88	0	5.0%	32.6%	62.4%	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	277	15	123	138	1	5.4%	44.4%	49.8%	0.4%
240705053	済生会松阪総合病院	132	4	70	58	0	3.0%	53.0%	43.9%	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	77	0	60	17	0	0.0%	77.9%	22.1%	0.0%
269700129	済生会京都府病院	48	4	21	23	0	8.3%	43.8%	47.9%	0.0%
271607149	済生会千里病院	122	2	54	66	0	1.6%	44.3%	54.1%	0.0%
272701586	済生会泉尾病院	77	4	29	44	0	5.2%	37.7%	57.1%	0.0%
274205628	済生会茨木病院	33	4	16	13	0	12.1%	48.5%	39.4%	0.0%
274900723	済生会富田林病院	109	5	55	49	0	4.6%	50.5%	45.0%	0.0%
279600070	済生会中津病院	113	8	52	53	0	7.1%	46.0%	46.9%	0.0%
279600120	済生会野江病院	151	3	95	53	0	2.0%	62.9%	35.1%	0.0%
279600153	済生会吹田病院	196	9	105	82	0	4.6%	53.6%	41.8%	0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	19	4	6	9	0	21.1%	31.6%	47.4%	0.0%
290102017	済生会奈良病院	54	6	38	10	0	11.1%	70.4%	18.5%	0.0%
290401062	済生会中和病院	99	7	56	36	0	7.1%	56.6%	36.4%	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	151	18	70	63	0	11.9%	46.4%	41.7%	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	172	8	49	115	0	4.7%	28.5%	66.9%	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	83	12	40	31	0	14.5%	48.2%	37.3%	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	54	4	20	30	0	7.4%	37.0%	55.6%	0.0%
401719020	済生会二日市病院	89	1	31	57	0	1.1%	34.8%	64.0%	0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	109	16	33	60	0	14.7%	30.3%	55.0%	0.0%
438211911	済生会熊本病院	198	6	62	130	0	3.0%	31.3%	65.7%	0.0%
	合計	4608	248	2008	2351	1	5.4%	43.6%	51.0%	0.0%

* 分母が10症例未満の病院数：0

－ 女性生殖器系及び産褥期疾患・異常妊娠分娩（MDC12） －

医療機関コード	医療機関名	件数					%			
		計	B	C	D	E	B	C	D	E
060113656	済生会山形済生病院	403	27	132	244	0	6.7%	32.8%	60.5%	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	210	4	27	179	0	1.9%	12.9%	85.2%	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	616	28	132	456	0	4.5%	21.4%	74.0%	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	291	9	81	201	0	3.1%	27.8%	69.1%	0.0%
120210971	済生会習志野病院	207	26	51	130	0	12.6%	24.6%	62.8%	0.0%
130314757	済生会中央病院	189	12	20	157	0	6.3%	10.6%	83.1%	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	412	13	79	320	0	3.2%	19.2%	77.7%	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	260	6	59	195	0	2.3%	22.7%	75.0%	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	349	28	67	254	0	8.0%	19.2%	72.8%	0.0%
160115667	済生会富山病院	83	5	32	46	0	6.0%	38.6%	55.4%	0.0%
160212605	済生会高岡病院	139	13	50	76	0	9.4%	36.0%	54.7%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	319	37	42	240	0	11.6%	13.2%	75.2%	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	298	10	75	213	0	3.4%	25.2%	71.5%	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	243	35	49	159	0	14.4%	20.2%	65.4%	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	113	4	8	101	0	3.5%	7.1%	89.4%	0.0%
269700129	済生会京都府病院	145	10	39	96	0	6.9%	26.9%	66.2%	0.0%
271607149	済生会千里病院	365	74	82	209	0	20.3%	22.5%	57.3%	0.0%
274205628	済生会茨木病院	94	1	42	51	0	1.1%	44.7%	54.3%	0.0%
279600070	済生会中津病院	206	28	58	120	0	13.6%	28.2%	58.3%	0.0%
279600120	済生会野江病院	216	10	55	151	0	4.6%	25.5%	69.9%	0.0%
279600153	済生会吹田病院	342	7	58	277	0	2.0%	17.0%	81.0%	0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	210	4	50	156	0	1.9%	23.8%	74.3%	0.0%
290401062	済生会中和病院	27	0	10	17	0	0.0%	37.0%	63.0%	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	129	9	25	95	0	7.0%	19.4%	73.6%	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	357	40	98	219	0	11.2%	27.5%	61.3%	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	11	0	2	9	0	0.0%	18.2%	81.8%	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	388	18	75	295	0	4.6%	19.3%	76.0%	0.0%
	合計	6622	458	1498	4666	0	6.9%	22.6%	70.5%	0.0%

* 分母が10症例未満の病院数：5

－ 血液・造血器・免疫臓器の疾患（MDC13）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	
080110205	水戸済生会総合病院	12	0	1	11	0	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%	
096210115	済生会宇都宮病院	34	3	17	12	2	8.8%	50.0%	35.3%	5.9%	
100110144	済生会前橋病院	29	0	14	15	0	0.0%	48.3%	51.7%	0.0%	
110201350	済生会川口総合病院	10	2	1	6	1	20.0%	10.0%	60.0%	10.0%	
120210971	済生会習志野病院	15	7	2	6	0	46.7%	13.3%	40.0%	0.0%	
130314757	済生会中央病院	23	4	8	10	1	17.4%	34.8%	43.5%	4.3%	
140105122	済生会横浜市東部病院	10	3	3	4	0	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	
150120734	済生会新潟第二病院	13	0	2	11	0	0.0%	15.4%	84.6%	0.0%	
180118909	福井県済生会病院	15	5	4	6	0	33.3%	26.7%	40.0%	0.0%	
224160042	静岡済生会総合病院	18	4	7	7	0	22.2%	38.9%	38.9%	0.0%	
251200194	済生会滋賀県病院	13	3	3	5	2	23.1%	23.1%	38.5%	15.4%	
279600070	済生会中津病院	35	6	9	19	1	17.1%	25.7%	54.3%	2.9%	
279600120	済生会野江病院	22	4	5	12	1	18.2%	22.7%	54.5%	4.5%	
338800012	岡山済生会総合病院	24	3	9	12	0	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%	
350116357	済生会下関総合病院	28	2	6	20	0	7.1%	21.4%	71.4%	0.0%	
401119189	済生会福岡総合病院	24	1	9	11	3	4.2%	37.5%	45.8%	12.5%	
406619050	済生会八幡総合病院	12	0	6	5	1	0.0%	50.0%	41.7%	8.3%	
438211911	済生会熊本病院	17	0	10	7	0	0.0%	58.8%	41.2%	0.0%	
	合計	354	47	116	179	12	13.3%	32.8%	50.6%	3.4%	

* 分母が10症例未満の病院数：19

－ 新生児疾患・先天性奇形（MDC14）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	
080110205	水戸済生会総合病院	35	1	4	29	1	2.9%	11.4%	82.9%	2.9%	
096210115	済生会宇都宮病院	36	1	10	25	0	2.8%	27.8%	69.4%	0.0%	
100110144	済生会前橋病院	17	0	4	13	0	0.0%	23.5%	76.5%	0.0%	
140105122	済生会横浜市東部病院	10	1	5	4	0	10.0%	50.0%	40.0%	0.0%	
180118909	福井県済生会病院	12	0	4	8	0	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
279600070	済生会中津病院	12	0	4	8	0	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
279600153	済生会吹田病院	11	5	2	4	0	45.5%	18.2%	36.4%	0.0%	
338800012	岡山済生会総合病院	16	0	8	8	0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
350116357	済生会下関総合病院	35	1	9	23	2	2.9%	25.7%	65.7%	5.7%	
401119189	済生会福岡総合病院	13	0	5	8	0	0.0%	38.5%	61.5%	0.0%	
	合計	197	9	55	130	3	4.6%	27.9%	66.0%	1.5%	

* 分母が10症例未満の病院数：23

－ 小児疾患（MDC15）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	

* 分母が10症例未満の病院数：11

－ 外傷・中毒・熱傷（MDC16） －

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	
060113656	済生会山形済生病院	240	10	35	194	1	4.2%	14.6%	80.8%	0.4%	
080110205	水戸済生会総合病院	219	25	45	149	0	11.4%	20.5%	68.0%	0.0%	
096210115	済生会宇都宮病院	275	14	55	206	0	5.1%	20.0%	74.9%	0.0%	
100110144	済生会前橋病院	118	4	35	78	1	3.4%	29.7%	66.1%	0.8%	
110201350	済生会川口総合病院	155	11	54	90	0	7.1%	34.8%	58.1%	0.0%	
111101922	済生会栗橋病院	20	1	16	3	0	5.0%	80.0%	15.0%	0.0%	
120210971	済生会習志野病院	112	7	26	79	0	6.3%	23.2%	70.5%	0.0%	
130314757	済生会中央病院	169	3	42	124	0	1.8%	24.9%	73.4%	0.0%	
140105122	済生会横浜市東部病院	245	17	58	170	0	6.9%	23.7%	69.4%	0.0%	
143103439	済生会横浜市南部病院	194	8	39	147	0	4.1%	20.1%	75.8%	0.0%	
150120734	済生会新潟第二病院	226	2	39	185	0	0.9%	17.3%	81.9%	0.0%	
160115667	済生会富山病院	115	11	29	75	0	9.6%	25.2%	65.2%	0.0%	
160212605	済生会高岡病院	66	6	16	44	0	9.1%	24.2%	66.7%	0.0%	
170117068	済生会金沢病院	75	0	30	45	0	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	
180118909	福井県済生会病院	200	12	30	154	4	6.0%	15.0%	77.0%	2.0%	
224160042	静岡済生会総合病院	373	24	65	284	0	6.4%	17.4%	76.1%	0.0%	
240705053	済生会松阪総合病院	196	11	53	132	0	5.6%	27.0%	67.3%	0.0%	
251200194	済生会滋賀県病院	382	24	71	287	0	6.3%	18.6%	75.1%	0.0%	
269700129	済生会京都府病院	114	9	9	96	0	7.9%	7.9%	84.2%	0.0%	
271607149	済生会千里病院	295	56	53	186	0	19.0%	18.0%	63.1%	0.0%	
274205628	済生会茨木病院	113	1	34	78	0	0.9%	30.1%	69.0%	0.0%	
274900723	済生会富田林病院	67	1	17	49	0	1.5%	25.4%	73.1%	0.0%	
279600070	済生会中津病院	105	3	26	76	0	2.9%	24.8%	72.4%	0.0%	
279600120	済生会野江病院	201	7	58	135	1	3.5%	28.9%	67.2%	0.5%	
279600153	済生会吹田病院	190	6	38	146	0	3.2%	20.0%	76.8%	0.0%	
285001538	済生会兵庫県病院	79	2	23	54	0	2.5%	29.1%	68.4%	0.0%	
290102017	済生会奈良病院	51	2	12	37	0	3.9%	23.5%	72.5%	0.0%	
290401062	済生会中和病院	94	4	28	62	0	4.3%	29.8%	66.0%	0.0%	
338800012	岡山済生会総合病院	297	8	52	236	1	2.7%	17.5%	79.5%	0.3%	
343111190	済生会広島病院	108	1	20	87	0	0.9%	18.5%	80.6%	0.0%	
350116357	済生会下関総合病院	270	11	58	201	0	4.1%	21.5%	74.4%	0.0%	
350310141	済生会山口総合病院	194	6	46	142	0	3.1%	23.7%	73.2%	0.0%	
401119189	済生会福岡総合病院	290	40	74	176	0	13.8%	25.5%	60.7%	0.0%	
401719020	済生会二日市病院	117	6	11	100	0	5.1%	9.4%	85.5%	0.0%	
406619050	済生会八幡総合病院	205	23	45	137	0	11.2%	22.0%	66.8%	0.0%	
438211911	済生会熊本病院	557	38	135	384	0	6.8%	24.2%	68.9%	0.0%	
	合計	6727	414	1477	4828	8	6.2%	22.0%	71.8%	0.1%	

* 分母が10症例未満の病院数：1

－ 精神疾患（MDC17） －

医療機関コード	医療機関名	件数					%				
		計	B	C	D	E	B	C	D	E	

* 分母が10症例未満の病院数：2

－その他（MDC18）－

医療機関コード	医療機関名	件数					%			
		計	B	C	D	E	B	C	D	E
060113656	済生会山形済生病院	35	3	2	30	0	8.6%	5.7%	85.7%	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	23	3	4	16	0	13.0%	17.4%	69.6%	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	21	4	7	10	0	19.0%	33.3%	47.6%	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	16	5	0	11	0	31.3%	0.0%	68.8%	0.0%
111101922	済生会栗橋病院	17	0	2	15	0	0.0%	11.8%	88.2%	0.0%
120210971	済生会習志野病院	14	1	2	11	0	7.1%	14.3%	78.6%	0.0%
130314757	済生会中央病院	53	5	15	33	0	9.4%	28.3%	62.3%	0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	74	8	20	46	0	10.8%	27.0%	62.2%	0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	38	8	9	21	0	21.1%	23.7%	55.3%	0.0%
150120734	済生会新潟第二病院	19	5	2	12	0	26.3%	10.5%	63.2%	0.0%
180118909	福井県済生会病院	32	6	3	23	0	18.8%	9.4%	71.9%	0.0%
224160042	静岡済生会総合病院	38	5	10	23	0	13.2%	26.3%	60.5%	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	19	1	4	14	0	5.3%	21.1%	73.7%	0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	26	0	3	23	0	0.0%	11.5%	88.5%	0.0%
269700129	済生会京都府病院	14	7	2	5	0	50.0%	14.3%	35.7%	0.0%
271607149	済生会千里病院	37	2	13	22	0	5.4%	35.1%	59.5%	0.0%
279600070	済生会中津病院	24	3	6	15	0	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%
279600120	済生会野江病院	30	6	7	17	0	20.0%	23.3%	56.7%	0.0%
279600153	済生会吹田病院	12	1	3	8	0	8.3%	25.0%	66.7%	0.0%
290401062	済生会中和病院	11	1	2	8	0	9.1%	18.2%	72.7%	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	38	3	7	27	1	7.9%	18.4%	71.1%	2.6%
350116357	済生会下関総合病院	39	5	12	22	0	12.8%	30.8%	56.4%	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	15	4	1	10	0	26.7%	6.7%	66.7%	0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	35	6	9	19	1	17.1%	25.7%	54.3%	2.9%
406619050	済生会八幡総合病院	30	4	6	20	0	13.3%	20.0%	66.7%	0.0%
438211911	済生会熊本病院	69	8	13	46	2	11.6%	18.8%	66.7%	2.9%
	合計	779	104	164	507	4	13.4%	21.1%	65.1%	0.5%

* 分母が10症例未満の病院数：11

10) 急性脳梗塞患者に対する入院後3日以内の早期リハビリテーション開始率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、入院後3日以内にリハビリが開始された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞(I63)」で、入院時の脳梗塞の発症時期が急性期(発症4日以内)であった退院患者のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が算定された患者数。ただし、以下の場合を除外する。

・入院時併存症名または入院後発症疾患名に「急性心筋梗塞」「起立性低血圧」「くも膜下出血」「脳内出血」「その他の非外傷性頭蓋内出血」のいずれか一つ以上が記載されている場合

脳梗塞は脳内の血管が血栓や塞栓などによって詰まることで、その部位の脳組織が壊死してしまう傷病です。障害の部位により、運動障害、感覚障害、言語障害等の種々の症状が生じます。脳梗塞の治療としては、超早期における血栓溶解療法、早期における脳保護療法などが行われます。こうした薬物治療の進歩により、その救命率は飛躍的に高まっています。しかしながら、入院後長期にわたり臥位状態が続くことで、筋萎縮や筋力低下、関節の拘縮、褥瘡、抑うつ的な精神症状といった症状が生じ、適切なリハビリテーションが行われないと、こうした症状が固定化し、患者さんの療養生活の質を大幅に低下させることとなります。このような症状を、心身の活動を行わないことによって生じるという意味で「廃用症候群」と呼ぶことがあります。この廃用症候群を防止するために、近年、発症後早期からのリハビリテーションを行うことがガイドラインでも推奨されています。本指標はそうした活動を評価するものです。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とする。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：急性脳梗塞患者に対する入院後3日以内の早期リハビリテーション開始率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	64	34	53.1%
080110205	水戸済生会総合病院	72	50	69.4%
096210115	済生会宇都宮病院	143	46	32.2%
110201350	済生会川口総合病院	50	42	84.0%
111101922	済生会栗橋病院	68	45	66.2%
120210971	済生会習志野病院	28	21	75.0%
130314757	済生会中央病院	87	69	79.3%
140105122	済生会横浜市東部病院	97	88	90.7%
143103439	済生会横浜市南部病院	70	33	47.1%
150120734	済生会新潟第二病院	10		10.0%
160115667	済生会富山病院	167	147	88.0%
160212605	済生会高岡病院	42	36	85.7%
180118909	福井県済生会病院	84	71	84.5%
224160042	静岡済生会総合病院	79	57	72.2%
240705053	済生会松阪総合病院	80	54	67.5%
251200194	済生会滋賀県病院	65	48	73.8%
269700129	済生会京都府病院	34	27	79.4%
272701586	済生会泉尾病院	16	14	87.5%
274205628	済生会茨木病院	24	19	79.2%
279600120	済生会野江病院	45	38	84.4%
279600153	済生会吹田病院	51	40	78.4%
290401062	済生会中和病院	41	28	68.3%
338800012	岡山済生会総合病院	49	30	61.2%
343111190	済生会広島病院	14	11	78.6%
350116357	済生会下関総合病院	34	21	61.8%
350310141	済生会山口総合病院	70	60	85.7%
401119189	済生会福岡総合病院	102	87	85.3%
401719020	済生会二日市病院	55	53	96.4%
406619050	済生会八幡総合病院	299	223	74.6%
438211911	済生会熊本病院	257	237	92.2%
	合計	2297	1730	75.3%

* 分母が10症例未満の病院数：11

1 1) 急性脳梗塞患者に対する入院後3日以内の頭部CTもしくはMRIの施行率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、入院当日・翌日に「CT撮影」あるいは「MRI撮影」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞(I63)」で、入院時の脳梗塞の発症時期が急性期（発症4日以内）であった退院患者数

脳血管障害においては、発生部位の確認に加えて、それが脳出血であるのか、脳梗塞であるのかといった鑑別診断も適切な治療選択のために重要です。そのためには頭部CTもしくはMRIによる迅速かつ正確な診断が不可欠です。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに関連する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、集計のブレを回避するため、分母が10症例未満の指標データは表示しない。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：急性脳梗塞患者に対する入院後3日以内の頭部CTもしくはMRIの施行率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	84	82	97.6%
080110205	水戸済生会総合病院	90	90	100.0%
096210115	済生会宇都宮病院	176	167	94.9%
110201350	済生会川口総合病院	60	59	98.3%
111101922	済生会栗橋病院	90	67	74.4%
120210971	済生会習志野病院	37	36	97.3%
130314757	済生会中央病院	102	96	94.1%
140105122	済生会横浜市東部病院	120	118	98.3%
143103439	済生会横浜市南部病院	83	80	96.4%
150120734	済生会新潟第二病院	11	10	90.9%
160115667	済生会富山病院	205	204	99.5%
160212605	済生会高岡病院	54	54	100.0%
180118909	福井県済生会病院	95	93	97.9%
224160042	静岡済生会総合病院	92	89	96.7%
240705053	済生会松阪総合病院	100	100	100.0%
251200194	済生会滋賀県病院	80	78	97.5%
269700129	済生会京都府病院	41	37	90.2%
271607149	済生会千里病院	12	12	100.0%
272701586	済生会泉尾病院	19	19	100.0%
274205628	済生会茨木病院	28	26	92.9%
274900723	済生会富田林病院	10	10	100.0%
279600120	済生会野江病院	54	53	98.1%
279600153	済生会吹田病院	64	64	100.0%
290401062	済生会中和病院	53	48	90.6%
338800012	岡山済生会総合病院	60	57	95.0%
343111190	済生会広島病院	18	16	88.9%
350116357	済生会下関総合病院	40	39	97.5%
350310141	済生会山口総合病院	82	81	98.8%
401119189	済生会福岡総合病院	112	107	95.5%
401719020	済生会二日市病院	73	72	98.6%
406619050	済生会八幡総合病院	328	304	92.7%
438211911	済生会熊本病院	329	323	98.2%
	合計	2802	2691	96.0%

* 分母が10症例未満の病院数：5

1 2) 急性脳梗塞患者における入院死亡率

【公表日】

平成24年6月頃（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が「脳梗塞(I63)」で、入院時の脳梗塞の発症時期が急性期(発症4日以内)であったJCS1桁の退院患者数。ただし、以下の場合を除外

- ・脳動脈の塞栓症による脳梗塞
- ・脳幹梗塞
- ・出血性梗塞

近年の薬物治療の進歩により、急性脳梗塞の救命率は大幅に改善されました。しかしながら、急性脳梗塞が死に至りうる重篤な疾患であることには変わりはありません。梗塞の部位や広がりにより、不幸にして死亡退院になることも稀ではありません。死亡率は、各施設がどのような重症度の患者さんを受け入れる施設であるかによって大きく変わりますので、必ずしもその多寡が当該施設の医療の質を反映するものではありません。しかしながら、各施設がその値を作成し、施設間の差をもたらしている要因が何であるのかを検証することで、さらなる医療の質向上を図ることができます。それがこの指標を作成し、公開している理由です。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

死亡率に係る指標であり、公表方法について慎重に検討する必要があることから、専門小委員会にて検討の後、公表することとなった。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：急性脳梗塞患者における入院死亡率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関名	母数	分子	割合
A	283	3	1.1%
B	210	0	0.0%
C	141	2	1.4%
D	105	3	2.9%
E	89	2	2.2%
F	87	0	0.0%
G	77	2	2.6%
H	74	1	1.4%
I	72	1	1.4%
J	71	1	1.4%
K	69	1	1.4%
L	64	1	1.6%
M	62	1	1.6%
N	57	0	0.0%
O	56	1	1.8%
P	54	1	1.9%
Q	52	1	1.9%
R	46	0	0.0%
S	46	2	4.3%
T	42	1	2.4%
U	40	0	0.0%
V	40	1	2.5%
W	37	1	2.7%
X	36	0	0.0%
Y	28	1	3.6%
Z	27	1	3.7%
AA	22	0	0.0%
AB	17	0	0.0%
AC	13	0	0.0%
AD	10	0	0.0%
AE	9	0	0.0%
AF	7	0	0.0%
AG	7	0	0.0%
AH	7	1	14.3%
AI	4	0	0.0%
AJ	2	0	0.0%
AK	1	0	0.0%
合計	2064	29	1.4%

1 3) 急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、退院時処方アスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数

分母：「急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞（DPCコード：050030）」の退院患者数。ただし、以下の場合を除外する。

- ・退院時転帰が死亡であった患者
- ・退院先が「他院へ転院（入院）した場合」あるいは「その他(介護老人保健施設、介護老人福祉施設等への転所)」に該当する患者
- ・Killip分類が「Class4」であった患者
- ・入院時に既にアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルを服用中の患者
- ・段階的に、脳出血の発症率なども視野に入れること

急性心筋梗塞は心臓に血液を送っている冠動脈が動脈硬化等によって細くなり、それが血栓などで詰まってしまうことによって、心筋が壊死してしまう疾患です。ポンプ機能の低下あるいは併存症である不整脈などによって死にいたることもある重篤な疾患です。

急性期の治療後は再梗塞を予防するために、血栓の形成抑制効果のあるアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルを処方することがガイドライン等で推奨されています。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、集計のブレを回避するため、分母が10症例未満の指標データは表示せず、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とする。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	10		60.0%
080110205	水戸済生会総合病院	34	31	91.2%
096210115	済生会宇都宮病院	87	81	93.1%
100110144	済生会前橋病院	28	24	85.7%
110201350	済生会川口総合病院	16	15	93.8%
111101922	済生会栗橋病院	49	46	93.9%
120210971	済生会習志野病院	26	26	100.0%
130314757	済生会中央病院	33	25	75.8%
140105122	済生会横浜市東部病院	53	50	94.3%
143103439	済生会横浜市南部病院	46	43	93.5%
150120734	済生会新潟第二病院	10		80.0%
160115667	済生会富山病院	15	13	86.7%
180118909	福井県済生会病院	13	13	100.0%
224160042	静岡済生会総合病院	19	19	100.0%
240705053	済生会松阪総合病院	15	15	100.0%
251200194	済生会滋賀県病院	17	17	100.0%
271607149	済生会千里病院	54	39	72.2%
272701586	済生会泉尾病院	15	14	93.3%
274205628	済生会茨木病院	11		81.8%
279600070	済生会中津病院	13	12	92.3%
279600120	済生会野江病院	27	27	100.0%
279600153	済生会吹田病院	18	18	100.0%
350116357	済生会下関総合病院	32	26	81.3%
350310141	済生会山口総合病院	37	34	91.9%
401119189	済生会福岡総合病院	44	41	93.2%
401719020	済生会二日市病院	23	23	100.0%
438211911	済生会熊本病院	70	56	80.0%
	合計	815	731	89.7%

*分母が10症例未満の病院数：8

1 4) PCIを施行した救急車搬送患者の入院死亡率

【公表日】

平成24年6月頃（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数

分母：救急車（病院救急車含む）で搬送され、医療資源を最も投入した傷病名が「不安定狭心症」、「急性心筋梗塞」、「再発性心筋梗塞」、「その他の急性虚血性心疾患」のいずれかで、PCI（経皮的冠動脈インターベンション・「経皮的冠動脈形成術」「経皮的冠動脈粥腫切除術」「アテレクトミー」「経皮的冠動脈ステント術」）を入院当日あるいは翌日に施行した退院患者数。ただし、以下の場合を除外する。

- ・「急性心筋梗塞」、「再発性心筋梗塞」、「その他の急性虚血性心疾患」の患者で、入院時に Killip 分類が「Class3」あるいは「Class4」であった患者
- ・入院時点で「心停止」が認められた患者

PCI（経皮的冠動脈インターベンション）とは、心臓の冠動脈の狭窄あるいは閉塞部位を、カテーテルを使って拡張して治療する手技のことを言います。PCIをはじめとする近年の心筋梗塞治療手技の進歩により、急性心筋梗塞の救命率は大幅に改善されました。しかしながら、急性心筋梗塞が死に至りうる重篤な疾患であることに変わりはありません。梗塞の部位や広がりにより、不幸にして死亡退院になることも稀ではありません。死亡率は、各施設がどのような重症度の患者さんを受け入れる施設であるかによって大きく変わりますので、必ずしもその多寡が当該施設の医療の質を反映するものではありません。しかしながら、各施設がその値を作成し、施設間の差をもたらしている要因が何であるのかを検証することで、さらなる医療の質向上を図ることができます。それがこの指標を作成し、公開している理由です。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

死亡率に係る指標であり、公表方法について慎重に検討する必要があることから、専門小委員会にて検討の後、公表することとなった。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：PCIを施行した救急車搬送患者の入院死亡率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関名	母数	分子	割合
A	66	0	0.0%
B	47	1	2.1%
C	38	1	2.6%
D	29	1	3.4%
E	29	0	0.0%
F	28	0	0.0%
G	27	0	0.0%
H	19	0	0.0%
I	16	0	0.0%
J	14	0	0.0%
K	14	0	0.0%
L	13	0	0.0%
M	13	0	0.0%
N	12	0	0.0%
O	10	0	0.0%
P	9	0	0.0%
Q	6	0	0.0%
R	6	0	0.0%
S	6	0	0.0%
T	5	0	0.0%
U	5	0	0.0%
V	5	1	20.0%
W	4	0	0.0%
X	4	0	0.0%
Y	3	0	0.0%
Z	3	0	0.0%
AA	2	0	0.0%
AB	2	0	0.0%
AC	1	0	0.0%
AD	1	0	0.0%
AE	1	0	0.0%
AF	1	0	0.0%
AG	1	0	0.0%
合計	440	4	0.9%

15) 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「内視鏡的消化管止血術」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が「胃潰瘍」あるいは「十二指腸潰瘍」で「急性、出血を伴うもの」に該当する退院患者数

胃潰瘍・十二指腸潰瘍とは酸やペプシンなどによって胃壁あるいは十二指腸壁が障害され欠損した病態をいいます。出血性胃壁・十二指腸壁の障害部位に血管があると破綻し、出血を起こします。破たんした血管に対しては止血処置が必要であり、一般的には内視鏡的止血術が行われています。H2受容体拮抗剤の登場以来、外科的手術は大幅に減少し、現在では大量出血や内視鏡での止血困難例、穿孔、狭窄など重篤な合併症を認めた症例に限られています。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、集計のブレを回避するため、分母が10症例未満の指標データは表示せず、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	18		50.0%
080110205	水戸済生会総合病院	25	16	64.0%
096210115	済生会宇都宮病院	55	30	54.5%
110201350	済生会川口総合病院	19	14	73.7%
120210971	済生会習志野病院	19	11	57.9%
130314757	済生会中央病院	45	28	62.2%
140105122	済生会横浜市東部病院	36	31	86.1%
143103439	済生会横浜市南部病院	18	12	66.7%
150120734	済生会新潟第二病院	18	11	61.1%
160115667	済生会富山病院	19	11	57.9%
160212605	済生会高岡病院	12	10	83.3%
180118909	福井県済生会病院	25	19	76.0%
224160042	静岡済生会総合病院	26	17	65.4%
240705053	済生会松阪総合病院	18	-	50.0%
251200194	済生会滋賀県病院	32	20	62.5%
271607149	済生会千里病院	14		42.9%
272701586	済生会泉尾病院	13		53.8%
274900723	済生会富田林病院	10		60.0%
279600070	済生会中津病院	13	12	92.3%
279600120	済生会野江病院	14	11	78.6%
338800012	岡山済生会総合病院	29	17	58.6%
343111190	済生会広島病院	11	-	45.5%
350116357	済生会下関総合病院	33	13	39.4%
401119189	済生会福岡総合病院	29	19	65.5%
406619050	済生会八幡総合病院	22	22	100.0%
438211911	済生会熊本病院	67	60	89.6%
	合計	640	426	66.6%

* 分母が10症例未満の病院数：7

16) 人工膝関節置換手術後3日以内の早期リハビリテーション開始率

【公表日】

平成24年4月27日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、術後3日以内に「運動器リハビリテーション料」が算定された患者数

分母：人工関節全置換術が施行された(DPCコード：070230xx010xxx)の退院患者数
(両側、片側それぞれ算定する)

人工膝関節置換術後の過度の安静は、さまざまな心身の機能低下(これを廃用症候群と言います)を引き起こす原因となります。こうした機能低下はその後の生活の質を大きく低下させる可能性が高いことから、それを予防するために術後早期からのリハビリテーションを行うことが推奨されています。また、早期リハビリテーションの開始は、下肢の静脈うっ滞を減少させ、重篤な合併症である肺血栓塞栓症の要因となる深部静脈血栓症の発生を予防する効果もあります。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに関連する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、集計のブレを回避するため、分母が10症例未満の指標データは表示しないこととした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：人工膝関節置換手術後3日以内の早期リハビリテーション開始率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	155	155	100.0%
080110205	水戸済生会総合病院	17	16	94.1%
096210115	済生会宇都宮病院	15	15	100.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	50	12	24.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	28	26	92.9%
150120734	済生会新潟第二病院	36	21	58.3%
160115667	済生会富山病院	12	12	100.0%
160212605	済生会高岡病院	36	36	100.0%
180118909	福井県済生会病院	19	19	100.0%
251200194	済生会滋賀県病院	25	25	100.0%
271607149	済生会千里病院	20	20	100.0%
279600070	済生会中津病院	54	39	72.2%
279600120	済生会野江病院	16	14	87.5%
279600153	済生会吹田病院	17	17	100.0%
338800012	岡山済生会総合病院	40	33	82.5%
350116357	済生会下関総合病院	21	21	100.0%
406619050	済生会八幡総合病院	40	35	87.5%
438211911	済生会熊本病院	27	27	100.0%
	合計	628	543	86.5%

* 分母が10症例未満の病院数：11

17)人工関節置換術等の手術部位感染予防のための抗菌薬の3日及び7日以内の中止率
【公表日】

平成24年4月27日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、抗菌薬が予防的に投与され手術当日から数えて3日以内および7日以内に中止された患者数

分母：「人工関節置換術」「人工関節再置換術」「人工骨頭挿入術」のいずれかが施行された退院患者数

無菌領域である関節の手術では、術後感染症を予防するために抗菌薬が投与されます。しかしながら、抗菌薬の長期にわたる予防的投与は、抗菌薬に対する耐性菌を出現させるリスクを高めることにもなります。こうしたことから現在、ガイドライン等では、予防的抗菌薬を少なくとも術後3日以内に中止することを推奨しています。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに関連する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、集計のブレを回避するため、分母が10症例未満の指標データは表示せず、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：人工関節置換術等の手術部位感染予防のための抗菌薬の3日以内及び7日以内の中止率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

－ 3日以内の中止率 －

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	370	360	97.3%
080110205	水戸済生会総合病院	37	36	97.3%
096210115	済生会宇都宮病院	81	80	98.8%
110201350	済生会川口総合病院	11		63.6%
120210971	済生会習志野病院	90	88	97.8%
130314757	済生会中央病院	33	27	81.8%
140105122	済生会横浜市東部病院	97	95	97.9%
143103439	済生会横浜市南部病院	67	66	98.5%
150120734	済生会新潟第二病院	72	60	83.3%
160115667	済生会富山病院	27	19	70.4%
160212605	済生会高岡病院	65	63	96.9%
180118909	福井県済生会病院	41		4.9%
224160042	静岡済生会総合病院	23	20	87.0%
240705053	済生会松阪総合病院	23	23	100.0%
251200194	済生会滋賀県病院	65	58	89.2%
269700129	済生会京都府病院	10	10	100.0%
271607149	済生会千里病院	36	36	100.0%
274900723	済生会富田林病院	12		16.7%
279600070	済生会中津病院	84	40	47.6%
279600120	済生会野江病院	45	43	95.6%
279600153	済生会吹田病院	31	27	87.1%
290401062	済生会中和病院	13		61.5%
338800012	岡山済生会総合病院	64	0	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	49	27	55.1%
350310141	済生会山口総合病院	22	20	90.9%
401119189	済生会福岡総合病院	23	22	95.7%
406619050	済生会八幡総合病院	56	18	32.1%
438211911	済生会熊本病院	83	81	97.6%
	合計	1630	1338	82.1%

* 分母が10症例未満の病院数：7

－ 7日以内の中止率 －

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	370	362	97.8%
080110205	水戸済生会総合病院	37	37	100.0%
096210115	済生会宇都宮病院	81	80	98.8%
110201350	済生会川口総合病院	11	11	100.0%
120210971	済生会習志野病院	90	89	98.9%
130314757	済生会中央病院	33	33	100.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	97	95	97.9%
143103439	済生会横浜市南部病院	67	66	98.5%
150120734	済生会新潟第二病院	72	68	94.4%
160115667	済生会富山病院	27	24	88.9%
160212605	済生会高岡病院	65	63	96.9%
180118909	福井県済生会病院	41	40	97.6%
224160042	静岡済生会総合病院	23	23	100.0%
240705053	済生会松阪総合病院	23	23	100.0%
251200194	済生会滋賀県病院	65	62	95.4%
269700129	済生会京都府病院	10	10	100.0%
271607149	済生会千里病院	36	36	100.0%
274900723	済生会富田林病院	12	11	91.7%
279600070	済生会中津病院	84	75	89.3%
279600120	済生会野江病院	45	43	95.6%
279600153	済生会吹田病院	31	30	96.8%
290401062	済生会中和病院	13	12	92.3%
338800012	岡山済生会総合病院	64	59	92.2%
350116357	済生会下関総合病院	49	45	91.8%
350310141	済生会山口総合病院	22	22	100.0%
401119189	済生会福岡総合病院	23	22	95.7%
406619050	済生会八幡総合病院	56	55	98.2%
438211911	済生会熊本病院	83	82	98.8%
	合計	1630	1578	96.8%

* 分母が10症例未満の病院数：7

18) 乳がんの患者に対する乳房温存手術の施行率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、乳房温存手術として「乳腺悪性腫瘍摘出術」の「乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)」あるいは「乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの)」が行われた患者数

分母：乳がんのステージI（TNM分類：「T1：大きさ2cm以下」「N0：領域リンパ節転移なし」）で「乳房切除術」あるいは「乳腺悪性腫瘍手術」が施行された退院患者数

乳がんのステージI（TNM分類：「T1：大きさ2cm以下」「N0：領域リンパ節転移なし」）の治療法としては、再発率、美容面及び生活の質の観点から乳房温存療法が推奨されています。具体的には、乳房温存手術と術後の放射線療法、そして全身的な補助療法（化学療法・ホルモン療法）を行うものです。

ただし、ステージIであっても、病状によっては乳房温存療法の適応外となることもあります。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、原則として協力病院ごとに公表することとした。

本指標の数値を協力病院ごとに公表することについて、特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとに公表した。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

- ・臨床指標等の名称：乳がんの患者に対する乳房温存手術の施行率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
096210115	済生会宇都宮病院	20	13	65.0%
130314757	済生会中央病院	14	14	100.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	26	25	96.2%
143103439	済生会横浜市南部病院	20	15	75.0%
180118909	福井県済生会病院	51	39	76.5%
271607149	済生会千里病院	12	10	83.3%
279600070	済生会中津病院	20	18	90.0%
279600120	済生会野江病院	11		81.8%
290401062	済生会中和病院	11		81.8%
338800012	岡山済生会総合病院	27	25	92.6%
401119189	済生会福岡総合病院	21	17	81.0%
438211911	済生会熊本病院	15	10	66.7%
	合計	248	204	82.3%

* 分母が10症例未満の病院数：23

19) 胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) の施行率

【公表日】

平成24年4月2日 (平成23年7月～12月分)

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等 (実際の公表資料から転記)】

分子：分母のうち、K6532内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) が施行された患者数

分母：胃がん (ステージ I A) で胃がん手術が施行された退院患者数

内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) は、早期胃癌や早期食道癌に対する内視鏡治療で、癌の周囲にヒアルロン酸などの薬液を注射し、十分な粘膜下膨隆を作ったうえで、電気メスを用いて癌を少しずつ切りはがしていく治療方法です。ESD の適応は、原則として大きくても浸潤が粘膜層にとどまっている早期癌 (ステージ I A) で、転移病巣がないと推定されるものです。手術の侵襲が少ないため、術後の回復が早いこと、また胃を摘出するものではないため日常生活における障害がほとんどないことがメリットとして挙げられます。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察 (臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果)】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、集計のブレを回避するため、分母が10症例未満の指標データは表示せず、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の施行率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	17		52.9%
080110205	水戸済生会総合病院	24	15	62.5%
096210115	済生会宇都宮病院	50	21	42.0%
100110144	済生会前橋病院	15		60.0%
110201350	済生会川口総合病院	15		26.7%
111101922	済生会栗橋病院	22		31.8%
120210971	済生会習志野病院	10		30.0%
130314757	済生会中央病院	14		50.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	54	19	35.2%
143103439	済生会横浜市南部病院	11		18.2%
150120734	済生会新潟第二病院	65	41	63.1%
160115667	済生会富山病院	15		60.0%
160212605	済生会高岡病院	12		41.7%
170117068	済生会金沢病院	21	17	81.0%
180118909	福井県済生会病院	39	21	53.8%
240705053	済生会松阪総合病院	13		46.2%
251200194	済生会滋賀県病院	14		50.0%
271607149	済生会千里病院	23	15	65.2%
279600070	済生会中津病院	110	78	70.9%
279600120	済生会野江病院	24	10	41.7%
279600153	済生会吹田病院	48	39	81.3%
285001538	済生会兵庫県病院	11		27.3%
290401062	済生会中和病院	33	24	72.7%
338800012	岡山済生会総合病院	40	13	32.5%
350116357	済生会下関総合病院	11		0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	48	32	66.7%
401719020	済生会二日市病院	10		80.0%
438211911	済生会熊本病院	86	58	67.4%
	合計	855	482	56.4%

* 分母が10症例未満の病院数：9

20) がんのステージ別入院患者の割合

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、がんのステージ別患者数

分母：がんの疾患別退院患者数

対象は以下の疾患とする

- ・胃がん、大腸がん（結腸・直腸、肛門管）、肺がん、乳がん、肝がん（肝細胞がん、肝内胆管がん）

がんの病期の代表的な分類法は「TNM分類」です。「T (tumor)」は、がん原発巣の大きさ、深さ、広がりです。T0～T4の5段階まであり、数字が大きいほどがんが進行していることを表します。「N (node)」は、周りのリンパ節への転移があるかどうかをあらわします。N0～N3までの4段階あり、数字が大きくなるほどがんが進行していることをあらわします。「M (metastasis)」は、他の臓器などへの転移があるかどうかをあらわします。「M0」と「M1」の2つがあり、M0は転移がないこと、M1は転移があることをあらわします。

「TNM分類」の結果により、がんの「病期分類（ステージ分類）」が決定されます。がんの病期は、I期～IV期の4段階あり、I期は「早期がん」で、IV期は「進行がん」を表します。がんによっては、0期～IV期の5段階の場合もあります。表中「9」は病期が不明のものを示しています。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：がんのステージ別入院患者の割合
- ・対象期間：平成23年7月～12月

— 人数 —

医療機関名	合計	0	I	II	III	IV	9
済生会山形済生病院	163	4	44	18	27	57	13
水戸済生会総合病院	477	23	78	56	138	153	29
済生会宇都宮病院	407	14	115	85	98	88	7
済生会前橋病院	388	2	53	59	52	216	6
済生会川口総合病院	520	3	99	66	143	167	42
済生会栗橋病院	138		46	20	25	28	19
済生会習志野病院	219	9	41	29	33	51	56
済生会中央病院	233	1	42	33	33	38	86
済生会横浜市東部病院	503	11	143	84	89	147	29
済生会横浜市南部病院	269	20	53	33	57	64	42
済生会新潟第二病院	419	7	107	47	75	172	11
済生会富山病院	147		30	13	45	38	21
済生会高岡病院	115	4	42	11	15	36	7
済生会金沢病院	86	3	34	16	8	16	9
福井県済生会病院	738	13	237	145	139	177	27
静岡済生会総合病院	159	3	22	51	21	58	4
済生会松阪総合病院	190	2	40	33	40	75	
済生会滋賀県病院	276	3	37	55	86	78	17
済生会京都府病院	82	5	27	18	17	12	3
済生会千里病院	429	5	78	78	53	162	53
済生会泉尾病院	114	2	10	14	39	47	2
済生会茨木病院	112	6	16	21	18	50	1
済生会富田林病院	64	5	19	10	10	18	2
済生会中津病院	747	15	228	95	129	257	23
済生会野江病院	436	3	53	62	59	185	74
済生会吹田病院	531	17	148	59	91	170	46
済生会兵庫県病院	220	4	45	43	41	83	4
済生会奈良病院	68	4	11	7	7	7	32
済生会中和病院	140	1	51	17	21	45	5
岡山済生会総合病院	638	16	179	108	127	163	45
済生会広島病院	127	4	27	21	9	59	7
済生会下関総合病院	427	14	81	82	58	192	
済生会山口総合病院	203	2	32	17	44	105	3
済生会福岡総合病院	529	10	185	94	114	119	7
済生会二日市病院	209		41	30	40	90	8
済生会八幡総合病院	133	1	25	26	25	45	11
済生会熊本病院	782	5	225	120	145	233	54
合計	11438	241	2744	1776	2171	3701	805

— 割合 —

医療機関名	合計	0	I	II	III	IV	9
済生会山形済生病院	163	2.5%	27.0%	11.0%	16.6%	35.0%	8.0%
水戸済生会総合病院	477	4.8%	16.4%	11.7%	28.9%	32.1%	6.1%
済生会宇都宮病院	407	3.4%	28.3%	20.9%	24.1%	21.6%	1.7%
済生会前橋病院	388	0.5%	13.7%	15.2%	13.4%	55.7%	1.5%
済生会川口総合病院	520	0.6%	19.0%	12.7%	27.5%	32.1%	8.1%
済生会栗橋病院	138	0.0%	33.3%	14.5%	18.1%	20.3%	13.8%
済生会習志野病院	219	4.1%	18.7%	13.2%	15.1%	23.3%	25.6%
済生会中央病院	233	0.4%	18.0%	14.2%	14.2%	16.3%	36.9%
済生会横浜市東部病院	503	2.2%	28.4%	16.7%	17.7%	29.2%	5.8%
済生会横浜市南部病院	269	7.4%	19.7%	12.3%	21.2%	23.8%	15.6%
済生会新潟第二病院	419	1.7%	25.5%	11.2%	17.9%	41.1%	2.6%
済生会富山病院	147	0.0%	20.4%	8.8%	30.6%	25.9%	14.3%
済生会高岡病院	115	3.5%	36.5%	9.6%	13.0%	31.3%	6.1%
済生会金沢病院	86	3.5%	39.5%	18.6%	9.3%	18.6%	10.5%
福井県済生会病院	738	1.8%	32.1%	19.6%	18.8%	24.0%	3.7%
静岡済生会総合病院	159	1.9%	13.8%	32.1%	13.2%	36.5%	2.5%
済生会松阪総合病院	190	1.1%	21.1%	17.4%	21.1%	39.5%	0.0%
済生会滋賀県病院	276	1.1%	13.4%	19.9%	31.2%	28.3%	6.2%
済生会京都府病院	82	6.1%	32.9%	22.0%	20.7%	14.6%	3.7%
済生会千里病院	429	1.2%	18.2%	18.2%	12.4%	37.8%	12.4%
済生会泉尾病院	114	1.8%	8.8%	12.3%	34.2%	41.2%	1.8%
済生会茨木病院	112	5.4%	14.3%	18.8%	16.1%	44.6%	0.9%
済生会富田林病院	64	7.8%	29.7%	15.6%	15.6%	28.1%	3.1%
済生会中津病院	747	2.0%	30.5%	12.7%	17.3%	34.4%	3.1%
済生会野江病院	436	0.7%	12.2%	14.2%	13.5%	42.4%	17.0%
済生会吹田病院	531	3.2%	27.9%	11.1%	17.1%	32.0%	8.7%
済生会兵庫県病院	220	1.8%	20.5%	19.5%	18.6%	37.7%	1.8%
済生会奈良病院	68	5.9%	16.2%	10.3%	10.3%	10.3%	47.1%
済生会中和病院	140	0.7%	36.4%	12.1%	15.0%	32.1%	3.6%
岡山済生会総合病院	638	2.5%	28.1%	16.9%	19.9%	25.5%	7.1%
済生会広島病院	127	3.1%	21.3%	16.5%	7.1%	46.5%	5.5%
済生会下関総合病院	427	3.3%	19.0%	19.2%	13.6%	45.0%	0.0%
済生会山口総合病院	203	1.0%	15.8%	8.4%	21.7%	51.7%	1.5%
済生会福岡総合病院	529	1.9%	35.0%	17.8%	21.6%	22.5%	1.3%
済生会二日市病院	209	0.0%	19.6%	14.4%	19.1%	43.1%	3.8%
済生会八幡総合病院	133	0.8%	18.8%	19.5%	18.8%	33.8%	8.3%
済生会熊本病院	782	0.6%	28.8%	15.3%	18.5%	29.8%	6.9%
合計	11438	2.1%	24.0%	15.5%	19.0%	32.4%	7.0%

2 1) がん患者に対する緩和ケアの施行割合

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「緩和ケア診療加算」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が「がん」であり、医療資源を2番目に投入した傷病名、主傷病名、入院の契機となった傷病名、入院時併在症名のいずれかに以下の記載がある患者
・頭痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状または不安、抑うつなどの精神症状
ただし、緩和ケア病棟の入院患者は対象外とする。

なお、「がん」は悪性新生物（C00-C97）、上皮内新生物（D00-D09）、性状不詳または不明の新生物（D37-D48）とした。

また、頭痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状または不安、抑うつなどの精神症状についてはうつ（F32\$, F33\$）、不安等の神経症状（F40\$, F41\$, F43\$）、呼吸困難（R060）、情緒に関する異常所見（R45\$）、頭痛（G44\$, R51）、疼痛（R52\$）、倦怠感（R53）、がん性ニューロパシー（G130、G131、G132、G631）、イートンランバート症候群（G731）とした。

がんについては「致命的」な疾患というイメージが強いため、患者さんは種々の不安を持つことが少なくありません。また、治癒を目的とした治療に反応しなくなった患者さんに対しては強い痛みや嘔吐などの消化管症状、そして死への不安に対する治療やサポートが、療養生活の質を保证するために不可欠なものとなります。こうしたニーズに応えるものが緩和ケアです。緩和ケアは全人的なケアであり、痛み、その他の症状の医学的コントロールに加えて心理面、社会面、精神面のケアを行うものです。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：がん患者に対する緩和ケアの施行割合
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
224160042	静岡済生会総合病院	95	48	50.5%
279600070	済生会中津病院	131	14	10.7%
	合計	226	62	27.4%

22) 脳卒中地域連携パスの使用率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が脳卒中（急性発症または急性増悪した脳梗塞、脳出血またはくも膜下出血）に該当する退院患者数

脳卒中の場合、急性期における治療が終了した後も、継続的な医学的管理とリハビリテーションが必要になります。患者さんによっては、在宅復帰のためにリハビリテーションケアの充実した回復期リハビリテーション病棟や亜急性病床で継続的な医療を受ける場合もあります。脳卒中の患者さんに継続的な医療を提供するため、地域連携パスが作成されており、診療報酬上でもその利用が評価されています。本指標は脳卒中の退院患者のうち、どのくらいの患者さんが地域連携パスの対象となっているかを指標化することで、各病院の脳卒中治療における連携レベルを評価するものです。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：脳卒中地域連携パスの使用率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	90		0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	130	25	19.2%
096210115	済生会宇都宮病院	255	14	5.5%
110201350	済生会川口総合病院	98	26	26.5%
111101922	済生会栗橋病院	136	90	66.2%
120210971	済生会習志野病院	54		0.0%
130314757	済生会中央病院	126		0.8%
140105122	済生会横浜市東部病院	190	41	21.6%
143103439	済生会横浜市南部病院	106	16	15.1%
150120734	済生会新潟第二病院	15		0.0%
160115667	済生会富山病院	302	77	25.5%
160212605	済生会高岡病院	71		0.0%
170117068	済生会金沢病院	4		0.0%
180118909	福井県済生会病院	124	27	21.8%
224160042	静岡済生会総合病院	131	25	19.1%
240705053	済生会松阪総合病院	131	16	12.2%
251200194	済生会滋賀県病院	145		0.0%
269700129	済生会京都府病院	53		15.1%
271607149	済生会千里病院	13		0.0%
274205628	済生会茨木病院	36		0.0%
274900723	済生会富田林病院	10		0.0%
279600120	済生会野江病院	69	15	21.7%
285001538	済生会兵庫県病院	3		0.0%
290401062	済生会中和病院	61		0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	92	23	25.0%
350116357	済生会下関総合病院	57	23	40.4%
350310141	済生会山口総合病院	114	39	34.2%
401119189	済生会福岡総合病院	210	38	18.1%
401719020	済生会二日市病院	107		0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	414	15	3.6%
438211911	済生会熊本病院	480	274	57.1%
	合計	3827	793	20.7%

23) 大腿骨頸部骨折連携パスの使用率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が大腿骨頸部骨折（大腿骨頸部骨折骨接合術、大腿骨頸部骨折人工骨頭置換術等を実施している場合に限る）に該当する退院患者数

大腿骨頸部骨折の場合、急性期における治療が終了した後も、継続的な医学的管理とリハビリテーションが必要になります。患者さんによっては、在宅復帰のためにリハビリテーションケアの充実した回復期リハビリテーション病棟や亜急性期病床で継続的な医療を受ける場合もあります。大腿骨頸部骨折の患者さんに継続的な医療を提供するため、地域連携パスが作成されており、診療報酬上でもその利用が評価されています。本指標は大腿骨頸部骨折の退院患者のうち、どのくらいの患者さんが地域連携パスの対象となっているかを指標化することで、各病院の大腿骨頸部骨折治療における連携レベルを評価するものです

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：大腿骨頸部骨折連携パスの使用率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	51	27	52.9%
080110205	水戸済生会総合病院	34	19	55.9%
096210115	済生会宇都宮病院	56		0.0%
110201350	済生会川口総合病院	2		0.0%
120210971	済生会習志野病院	30	16	53.3%
130314757	済生会中央病院	25		0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	21		19.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	36	20	55.6%
150120734	済生会新潟第二病院	46	22	47.8%
160115667	済生会富山病院	26	17	65.4%
160212605	済生会高岡病院	24		12.5%
170117068	済生会金沢病院	15		0.0%
180118909	福井県済生会病院	41	23	56.1%
224160042	静岡済生会総合病院	105	48	45.7%
240705053	済生会松阪総合病院	50	32	64.0%
251200194	済生会滋賀県病院	94	44	46.8%
269700129	済生会京都府病院	31		22.6%
271607149	済生会千里病院	45	29	64.4%
274205628	済生会茨木病院	11		0.0%
274900723	済生会富田林病院	10		0.0%
279600120	済生会野江病院	40	12	30.0%
285001538	済生会兵庫県病院	17		0.0%
290401062	済生会中和病院	24		0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	72	30	41.7%
350116357	済生会下関総合病院	56	40	71.4%
350310141	済生会山口総合病院	47		0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	48		6.3%
401719020	済生会二日市病院	68	46	67.6%
406619050	済生会八幡総合病院	45	15	33.3%
438211911	済生会熊本病院	169	121	71.6%
	合計	1339	578	43.2%

24) 急性期病棟における退院調整の実施率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「急性期病棟等退院調整加算1」または「急性期病棟等退院調整加算2」が算定された患者数

分母：65歳以上の退院患者数

ただし、以下の場合を除外する。

・退院時転帰が死亡であった患者

急性期病棟は急性期にある患者さんの治療を行う場所であり、リハビリテーションや慢性期の治療を必要とする患者さんのケアの場所としては適切ではありません。患者さんがその病態にあった継続的な医療ケアを受けることができるようにするために、急性期病院では退院後の医療を確保するために調整を行うことが、診療報酬によって評価されています。特に高齢者の場合、家族の介護力や経済的状況、及び要介護度の状況を踏まえて、適切な調整を行うことが必要となることが少なくありません。本指標は、65歳以上の死亡退院以外の患者さんに対して急性期病棟等退院調整加算を算定している患者さんがどのくらいいるかを指標化することで、各病院がそのような活動をどのくらい行っているかを評価するものです。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：急性期病棟における退院調整の実施率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	1826	113	6.2%
080110205	水戸済生会総合病院	2390	38	1.6%
096210115	済生会宇都宮病院	3109	11	0.4%
100110144	済生会前橋病院	1879	64	3.4%
110201350	済生会川口総合病院	2360	50	2.1%
111101922	済生会栗橋病院	1755	56	3.2%
120210971	済生会習志野病院	2312	246	10.6%
130314757	済生会中央病院	2652		0.0%
140105122	済生会横浜市東部病院	3764	86	2.3%
143103439	済生会横浜市南部病院	2936	173	5.9%
150120734	済生会新潟第二病院	2036	55	2.7%
160115667	済生会富山病院	1371	28	2.0%
160212605	済生会高岡病院	1137	16	1.4%
170117068	済生会金沢病院	797	38	4.8%
180118909	福井県済生会病院	2606	197	7.6%
224160042	静岡済生会総合病院	2569	40	1.6%
240705053	済生会松阪総合病院	1940	159	8.2%
251200194	済生会滋賀県病院	1907	51	2.7%
269700129	済生会京都府病院	1142	53	4.6%
271607149	済生会千里病院	2149	139	6.5%
272701586	済生会泉尾病院	1224	447	36.5%
274900723	済生会富田林病院	1086		
279600070	済生会中津病院	2664	356	13.4%
279600120	済生会野江病院	2354	110	4.7%
279600153	済生会吹田病院	2481	230	9.3%
285001538	済生会兵庫県病院	749		0.7%
290102017	済生会奈良病院	753	17	2.3%
290401062	済生会中和病院	1218		0.2%
338800012	岡山済生会総合病院	3253	85	2.6%
343111190	済生会広島病院	1133	59	5.2%
350116357	済生会下関総合病院	2074	156	7.5%
350310141	済生会山口総合病院	1762	181	10.3%
401119189	済生会福岡総合病院	2624	213	8.1%
401719020	済生会二日市病院	1712	111	6.5%
406619050	済生会八幡総合病院	2267	82	3.6%
438211911	済生会熊本病院	4075	857	21.0%
	合計	74066	5502	7.4%

25) 救急搬送患者における連携先への転院率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「救急搬送患者地域連携紹介加算」が算定された患者数

分母：救急搬送により入院した退院患者数

ただし、以下の場合を除外する。

・退院時転帰が死亡であった患者

急性期病院の多くは救急医療を行っています。しかしながら、数多くの救急患者を受け入れる急性期病院が、そのすべての患者の入院治療に対応することは難しい場合もあります。そこで、救急を受け入れる病院が、地域の他の施設と連携して、例えば初期治療が一段落し、症状の落ち着いた救急患者のその後の入院医療を連携施設にまかせ、自施設はより重症の患者の治療にあたるといった、地域連携の仕組みが構築されています。診療報酬上もこのような連携が救急搬送患者地域連携紹介加算として評価されています。本指標は支合退院以外の救急搬送により入院した退院患者数のうち、当該加算を算定している患者さんの割合を算出し、各施設の救急医療における地域連携の状況を評価しようというものです。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：救急搬送患者における連携先への転院率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
110201350	済生会川口総合病院	436		0.0%
143103439	済生会横浜市南部病院	780		0.0%
160115667	済生会富山病院	621		0.2%
180118909	福井県済生会病院	391		0.3%
269700129	済生会京都府病院	375		0.0%
274900723	済生会富田林病院	156		0.0%
279600070	済生会中津病院	309		0.0%
279600120	済生会野江病院	521		0.0%
279600153	済生会吹田病院	586		0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	170		0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	548		0.0%
401119189	済生会福岡総合病院	1110		0.4%
438211911	済生会熊本病院	1784	31	1.7%
	合計	7787	37	0.5%

26) 退院時共同指導の実施率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「退院時共同指導2」が算定された患者数

分母：退院患者数

ただし、以下の場合を除外する。

- ・転院、介護施設への転所、死亡

退院時共同指導とは入院中の患者の退院時における円滑な情報共有を進めるため、入院中の医療機関の医師と、地域での在宅療養を担う医師や医療関連職種が共同して指導を行った場合に診療報酬上で評価を行うというものです。本指標は各施設の地域の医療機関との連携のレベルを評価するものです。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに関連する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：退院時共同指導の実施率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	3705	0	0.0%
080110205	水戸済生会総合病院	4400	19	0.4%
096210115	済生会宇都宮病院	6764	0	0.0%
100110144	済生会前橋病院	3196	0	0.0%
110201350	済生会川口総合病院	4791	0	0.0%
111101922	済生会栗橋病院	3133	0	0.0%
120210971	済生会習志野病院	3704	0	0.0%
130314757	済生会中央病院	4930	43	0.9%
140105122	済生会横浜市東部病院	6975		0.1%
143103439	済生会横浜市南部病院	5405		0.1%
150120734	済生会新潟第二病院	4310	0	0.0%
160115667	済生会富山病院	2010	0	0.0%
160212605	済生会高岡病院	2144	10	0.5%
170117068	済生会金沢病院	1394	0	0.0%
180118909	福井県済生会病院	5274	24	0.5%
224160042	静岡済生会総合病院	4769	0	0.0%
240705053	済生会松阪総合病院	2916		0.0%
251200194	済生会滋賀県病院	3554		0.1%
269700129	済生会京都府病院	2092		0.1%
271607149	済生会千里病院	4025		0.1%
272701586	済生会泉尾病院	1768		0.1%
274205628	済生会茨木病院	2311	0	0.0%
274900723	済生会富田林病院	1545	12	0.8%
279600070	済生会中津病院	5255	31	0.6%
279600120	済生会野江病院	4039		0.1%
279600153	済生会吹田病院	5088		0.1%
285001538	済生会兵庫県病院	2114	0	0.0%
290102017	済生会奈良病院	1445	19	1.3%
290401062	済生会中和病院	2189	0	0.0%
338800012	岡山済生会総合病院	5301		0.1%
343111190	済生会広島病院	1434	0	0.0%
350116357	済生会下関総合病院	4218	0	0.0%
350310141	済生会山口総合病院	2503		0.3%
401119189	済生会福岡総合病院	4502	0	0.0%
401719020	済生会二日市病院	2160	0	0.0%
406619050	済生会八幡総合病院	2940	0	0.0%
438211911	済生会熊本病院	4449	11	0.2%
	合計	132752	213	0.2%

27) 介護支援連携指導の実施率

【公表日】

平成24年4月2日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、「介護支援連携指導料」が算定された患者数

分母：退院患者数（65歳以上）

ただし、以下の場合を除外する。

- ・退院時転帰が死亡であった患者
- ・退院先が転院であった患者

高齢者の患者の中には、急性期病院における治療とリハビリテーションを受けた後、介護保険サービスの必要となる方が少なくありません。この場合、医療と介護との緊密な連携が必要となりますが、そのような情報共有が診療報酬上では介護支援連携指導料として評価されています。本指標は上記除外基準以外の65歳以上の退院患者のうち、当該加算の算定となった患者さんの割合を計算し、各施設の医療と介護の連携レベルを評価しようとするものです。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

ただし、個人の特定を回避するため、分子が10症例未満の指標データは、母数と割合のみの表示とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：介護支援連携指導の実施率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	1707	51	3.0%
080110205	水戸済生会総合病院	2253	0	0.0%
096210115	済生会宇都宮病院	2833		0.0%
100110144	済生会前橋病院	1810	19	1.0%
110201350	済生会川口総合病院	2235	0	0.0%
111101922	済生会栗橋病院	1673	11	0.7%
120210971	済生会習志野病院	2218	131	5.9%
130314757	済生会中央病院	2555	68	2.7%
140105122	済生会横浜市東部病院	3471	7	0.2%
143103439	済生会横浜市南部病院	2763	49	1.8%
150120734	済生会新潟第二病院	1890	16	0.8%
160115667	済生会富山病院	1135		0.1%
160212605	済生会高岡病院	1065	13	1.2%
170117068	済生会金沢病院	762	21	2.8%
180118909	福井県済生会病院	2393	30	1.3%
224160042	静岡済生会総合病院	2339	16	0.7%
240705053	済生会松阪総合病院	1679	25	1.5%
251200194	済生会滋賀県病院	1723	59	3.4%
269700129	済生会京都府病院	1086	52	4.8%
271607149	済生会千里病院	1925	26	1.4%
272701586	済生会泉尾病院	1190	170	14.3%
274205628	済生会茨木病院	922	20	2.2%
274900723	済生会富田林病院	1051	70	6.7%
279600070	済生会中津病院	2624	56	2.1%
279600120	済生会野江病院	2186	46	2.1%
279600153	済生会吹田病院	2387	0	0.0%
285001538	済生会兵庫県病院	715		0.1%
290102017	済生会奈良病院	729		0.4%
290401062	済生会中和病院	1190		0.2%
338800012	岡山済生会総合病院	2952	21	0.7%
343111190	済生会広島病院	1076	51	4.7%
350116357	済生会下関総合病院	1761		0.2%
350310141	済生会山口総合病院	1563	23	1.5%
401119189	済生会福岡総合病院	2052		0.1%
401719020	済生会二日市病院	1341	38	2.8%
406619050	済生会八幡総合病院	1847	0	0.0%
438211911	済生会熊本病院	2608	93	3.6%
	合計	67709	1197	1.8%

28) 回復期リハビリテーション病棟退院患者の在宅復帰率

【公表日】

平成24年3月30日（平成23年7月～12月分）

【公表の際の臨床指標の説明、注意事項等（実際の公表資料から転記）】

分子：分母のうち、退院先が在宅の患者数

分母：回復期リハビリテーション病棟の退院患者数

・在宅には居宅および施設（老健除く）を含む

回復期リハビリテーション病棟の目的は、脳卒中や大腿骨頸部骨折の急性期における治療を受けた後の患者さんに、密度の濃いリハビリテーションサービスを提供することで、在宅での生活に戻れるようにすることです。本指標は回復期リハビリテーション病棟が、この目的をどのくらい達成できているのかを評価するものです。

ただし、ここでいう在宅には自宅以外の施設、例えばケアハウスなども含まれます。

【協力病院ごとの数値を公表した理由】

数値は、特段の問題がない限り、協力病院ごとの公表とした。

【考察（臨床指標等の値にばらつきや差が生じている原因、指標等の大きさに相関する各病院の取組、全体の平均値から大きく外れている原因、指標等が改善又は悪化している原因等の分析・評価結果）】

特に問題ないと評価されたため、原則どおり、協力病院ごとの公表とした。

【臨床指標等の値（以下の表には数値のみを記載。なお、公表の際には、数値だけでなく、数値を算出する際の分母・分子も併せて公表してください。）】

- ・臨床指標等の名称：回復期リハビリテーション病棟退院患者の在宅復帰率
- ・対象期間：平成23年7月～12月

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
170117068	済生会金沢病院	73	66	90.4%
272701586	済生会泉尾病院	40	38	95.0%
279600070	済生会中津病院	80	68	85.0%
290102017	済生会奈良病院	28	23	82.1%
	合計	221	195	88.2%

④ 団体から協力病院に対して、及び協力病院内における現場の職員に対する評価結果等のフィードバックの方法や頻度

専門小委員会にて指標データの分析を行い、分析結果をフィードバックすることで、協力病院等の医療の質の向上を図る。

また、協力病院を対象に、前年度の指標を用いて、医療の質の向上への取り組み、DPCデータ等の活用に関する勉強会を開催する。

指標の評価、勉強会の開催は年1回程度を予定している。

⑤ 臨床指標等の公表の方法（団体のホームページ上の専用のページ開設等）

済生会のホームページに専用のページを開設し公表する。

現在、28指標中、集計の完了した26指標を公表している。残りの2指標は死亡率に係る指標であり、公表方法について慎重に検討する必要があることから、専門小委員会にて検討の後、公表する。（平成24年6月以降）

⑥ 交付決定時及び中間評価時における評価会議の構成員からのコメントへの対応状況（中間報告の際に既に対応している場合であっても、その対応状況を再度記載）

《課題・要望事項》

○ 公表に当たっては、患者・国民が理解しやすいように方法を検討いただきたい。

→ 指標とともに、その見方や留意点等をあわせて公表し、患者・国民が理解しやすいように配慮した。

○ 典型的な急性期病院で、多くの指標について評価し、公表される予定であるが、全体の人的な陣容が示されていると、活動の実現性について理解しやすい。

→ 人的な陣容は以下のとおり。

① 医療の質の確保・向上等に関する専門小委員会 名簿（別紙2）

② 診療領域別指標を策定するための作業班 名簿（別紙2）

・ がん（消化器）、がん（呼吸器）、虚血性心疾患、脳卒中、糖尿病、患者のQuality of Lifeが改善する指標

③ 済生会独自の指標を策定するための作業班（別紙2）

○ 主な疾患に関する指標として、糖尿病に関する指標の追加を検討いただきたい。

→ 専門小委員会に診療領域別作業班（糖尿病）を設置し指標の検討を行っている。追加候補指標は平成24年7月から収集を開始する計画である。

○ 病院全体に関する指標として、救急の受入れに関する指標の追加を検討いただきたい（救急に関するものはあるが、救急受入れ後の死亡率に関する指標）。

→ 今後の専門小委員会にて検討することとしたい。

○ 地域連携に関する指標の追加を検討いただきたい。

→ 「脳卒中地域連携パスの使用率」「大腿骨頸部骨折地域連携パスの使用率」の指標データを公開するとともに、医療と福祉分野の連携については、専門小委員会に設置した済生会独自の指標を策定するための作業班にて検討を進めている。

○ 済生会の理念や姿勢（患者からの評価を必要としている点など）に関連した指標の追加を検討していただきたい。

→ 済生会の理念や姿勢に関連した指標は、専門小委員会に設置した済生会独自の指標を策定するための作業班にて検討を進めている。

○ 臨床指標評価委員会に関して、先進的な取組をしている熊本病院から院長先生に加えて、もう一人キーパーソンが加わるとよりよいのではないかと。

→本事業の推進にあつては、熊本病院をはじめとする各病院の医療情報担当者等と連絡をとりながら実施している。

○「患者のQuality of Lifeが改善する指標」とは具体的にどのような指標を想定しているのか。

→別紙3

○「分析のスキルを持ったスタッフの養成」とあるが、データの収集・分析を外部委託する中、スタッフの養成をどのように進める予定なのか。

→病院の職員のスキル向上のためには、勉強会の開催を計画している。

患者・家族等に評価される病院となるためには、医療の質の向上に有効な指標の策定と、その指標データによりどのように医療の質を改善するかということが重要であり、分析スキルだけでなく、それらを行える事務職員養成に努める。

そのため、勉強会では、DPCデータ等から指標データを作成するスキルの習得のほか、医療の質の向上に役立つ指標データの活用方法の習得も目的とし、そのために必要なカリキュラムとして、外部のDPC分析の専門家や、本会のDPCデータ分析に長けた職員等を講師とした講演、グループワーク形式による活用事例の検討等を計画している。

⑦当初の事業計画からの変更点及びその理由（例：臨床指標の変更、臨床指標の計算方法の変更等）

≪臨床指標の計算方法の変更≫

○入院患者満足度

変更：有効回答患者数に、患者家族による回答も含むこととした。

理由：患者本人による回答が困難な場合もあるため。

○外来患者の満足度

変更：収集期間を平成23年10月1日～31日の任意の日としていたが、選択にあつては、外来患者が平均的な日とすることを追加した。

理由：恣意的に調査しやすい日を選択しないようにするため。

○高齢者における褥瘡対策実施率

変更：褥瘡対策が実施された患者を、「褥瘡患者管理加算」あるいは「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」が算定された患者とし、施設基準を取っていない場合は“N o D e t a”とすることとした。

○急性脳梗塞患者に対する入院後3日以内の早期リハビリテーション開始率

変更：早期リハビリテーション開始を、入院翌日から入院後3日以内に変更した。

理由：国立病院機構の指標定義に合わせ、比較を可能にするため。

○人工膝関節置換手術後3日以内の早期リハビリテーション開始率

変更：早期リハビリテーション開始を、入院翌日から入院後3日以内に変更した。

理由：国立病院機構の指標定義に合わせ、比較を可能にするため。

○人工関節置換術、人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の3日以内及び7日以内中止率

変更：抗菌薬の入院翌日から入院後3日以内及び7日以内に変更した。

理由：国立病院機構の指標定義に合わせ、比較を可能にするため。

3. 今回の事業参画が契機となり、臨床指標等に関連する医療の質向上のために開始された取組や運動（公開可能であれば、取組等を実施した個別病院名を記載して差し支えありません。取組等が多数の場合には、別添として資料を添付し、以下の欄には、その主なものを記載）

①各協力病院での取組等

各協力病院に担当者を置き、指標にかかるデータの収集を平成23年9月から開始した。指標にかかるデータの作成を通じ、今まで十分でなかった質管理の専門部署の設立や、分析のスキルを持ったスタッフの養成などが促進される。

また、指標データの作成、公開を通じて、医療の質に関する認識が高まり、エビデンスに基づいた標準的な医療の確立や、ガイドラインの遵守が促進されることが期待される。

②団体全体での取組等

推進事業を実施するため専門小委員会を設置し、当該専門委員会の下部に「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」を策定するため作業班を設置した。

「診療領域別指標」の策定のための作業班メンバーは、各領域を専門とする医師で構成され、指標案の策定を通じ、当該領域の人的交流・連携が図られていくものと期待される。

「済生会独自の指標」の策定にあっては、本会の支部・施設へアンケートを実施した。当該アンケートへの回答を作成することで、本会の理念等について関心が高まった。

指標データは、専門小委員会にて評価し、協力病院等へ改善事項のフィードバック及び勉強会を実施することで、臨床指標を管理する人材を養成する。

4. 評価・公表等により得られた、協力病院における効果等

項目	効果等	左記の効果等に寄与したと考えられる取組や運動（左記に記載したものと対応させて記載してください。上記3.で記載しなかった、今回の事業参画以前から実施していた取組等も含めて記載して構いません。）
①医療の質の向上について（診療プロセスの適正化、臨床指標等の改善等）	<p>本会統一の指標によりベンチマークが可能となり、これにより自施設の特徴や改善点、優れた点などが明確になる。ベンチマーク結果を参考に標準化を進めることで、個々の病院の医療の質が向上し、ひいては本会全体の医療の質が向上して患者に選ばれる病院に近づくものと期待される。</p> <p>また、専門小委員会にて指標データの分析を行い、分析結果をフィードバックすることで、協力病院等の医療の質の向上を図る。</p> <p>また、指標活用のための勉強会を開催し、医療の質の改善を促す。</p>	（職員の意識向上による、とだけ記載するのではなく、意識向上により取り組み始めた事項等を踏み込んで記載してください。）
②職員の意識向上について	指標データの作成を通じ、今まで十分でなかった質管理の専門部署の設立や、分析のスキルを持ったスタッフの養成などが促進される。	
③外部（患者等）の反応について	指標データを公開することで、患者、利用者、その家族等が病院を選択する際に参考になる情報を提供できる。	
④その他の効果等（上記①～③に当てはまらない、当初予想していなかった副次的な効果等）	「特になし」	

5. 評価・公表等に当たっての問題点・課題及びその解決策（可能な限り具体的に記載。特に問題点がなかった場合には「特になし」と記載。特定の臨床指標についての問題点等を記載する場合には、当該臨床指標名を明示。）

(1) 技術面（指標の算出方法やリスク調整に当たっての技術的課題、データ収集や評価・公表に当たっての手続き上の問題点等）

	問題点・課題	改善策
準備段階	（各協力病院への説明、調査票等の策定、データ収集様式の確定に関するもの等）	「特になし」
データ収集段階	（収集頻度や収集方法に関するもの等） 協力病院が個別に自院から指標データを作成する方法を検討したが、全病院が全く同一の分析を実施できるか不安な面があった。	補助対象事業として、期限までに精度の高い指標を作成する必要があることや、協力病院の労力軽減を勘案し、データの収集・分析を「産業医科大学ヘルスマネジメント有限責任事業組合」へ委託することとした。
データ分析段階	（分析の方法や作業時間に関するもの等） 専門小委員会にて、指標を検討する際にリスク調整もあわせて検討したが、実際に分析を行ってみないと分からない面がある。	
リスク調整段階	（リスク調整法の検討や調整方法等） データ分析を行った場合、病院ごとのデータに外れ値等が発生した場合の対応が課題となった。	外れ値等は、専門小委員会にて、それが生じた過程を分析し、分析方法、指標の改良を行う。 今回の指標データについては、対応を検討する程の外れ値はなかった。
臨床指標評価検討委員会等での評価段階	（外れ値や分布の確認に関するもの等） 「特になし」	
臨床指標公表段階	（公表に当たっての各協力病院へのアナウンスや数値確認に関するもの等） 「特になし」	
臨床指標公表後	（公表後の問合せへの対応や公表後の修正に関するもの等） 「特になし」	

その他	<p>(全体を通じた課題や、当初予想していなかった副次的な問題点、継続的に実施するに当たって課題となり得る課題等)</p> <p>「特になし」</p>	
-----	---	--

(2) 実施体制・コスト面 (各段階での、人材確保や事務局体制、コスト上の課題等)

	問題点・課題	改善策
準備段階	<p>(各協力病院への説明、調査票等の策定、データ収集様式の確定に関するもの等)</p> <p>「特になし」</p>	
データ収集段階	<p>(収集頻度や収集方法に関するもの等)</p> <p>データの収集、分析を「産業医科大学ヘルスマネジメント有限責任事業組合」へ委託したため委託費が発生した。</p>	
データ分析段階	<p>(分析の方法や作業時間に関するもの等)</p> <p>データの収集、分析を「産業医科大学ヘルスマネジメント有限責任事業組合」へ委託したため委託費が発生した。</p>	
リスク調整段階	<p>(リスク調整法の検討や調整方法等)</p> <p>「特になし」</p>	
臨床指標評価検討委員会等での評価段階	<p>(外れ値や分布の確認に関するもの等)</p> <p>「特になし」</p>	
臨床指標公表段階	<p>(公表に当たっての各協力病院へのアナウンスや数値確認に関するもの等)</p> <p>「特になし」</p>	
臨床指標公表後	<p>(公表後の問合せへの対応や公表後の修正に関するもの等)</p>	

	「特になし」	
その他	（全体を通じた課題や、当初予想していなかった副次的な問題点、継続的に実施するに当たって課題となり得る課題等） 「特になし」	

(3) その他

	問題点・課題	改善策
準備段階	（各協力病院への説明、調査票等の策定、データ収集様式の確定に関するもの等） 「特になし」	
データ収集段階	（収集頻度や収集方法に関するもの等） 「特になし」	
データ分析段階	（分析の方法や作業時間に関するもの等） 「特になし」	
リスク調整段階	（リスク調整法の検討や調整方法等） 「特になし」	
臨床指標評価検討委員会等での評価段階	（外れ値や分布の確認に関するもの等） 「特になし」	
臨床指標公表段階	（公表に当たっての各協力病院へのアナウンスや数値確認に関するもの等） 「特になし」	
臨床指標公表後	（公表後の問合せへの対応や公表後の修正に関するもの等） 「特になし」	

その他	<p>(全体を通じた課題や、当初予想していなかった副次的な問題点、継続的に実施するに当たって課題となり得る課題等)</p> <p>「特になし」</p>	
-----	---	--

6. 今後の予定（可能な限り具体的に記載）

①平成24年度の予定

【評価・公表する臨床指標等の拡大の有無について（拡大する場合には、その具体的な指標名とともに、評価のみなのか、平均値を公表するのか、あるいは協力病院ごとの指標を公表するのかについて記載）】

専門小委員会を開催し、指標データの指標公表の可否・方法について検討を行う。また、採用する「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」を確定するとともに、対象病院の拡大を検討する。

【評価・公表する対象病院の拡大の有無について（拡大する場合には、追加される対象病院の数等を記載）】

平成24年7月から、対象対象病院を現在の250床以上のDPC病院（37病院）を、全DPC病院（50病院）へ拡大することを計画している。

【臨床指標等の改善に向けた取組】

専門委員会に設置した作業班にて、「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」の追加や、指標の改良を行う。

【その他】

②平成25年度以降の予定

【評価・公表する臨床指標等の拡大の有無について（拡大する場合には、その具体的な指標名とともに、評価のみなのか、平均値を公表するのか、あるいは協力病院ごとの指標を公表するのかについて記載）】

専門委員会に作業班を設置し、「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」の追加や、指標の改良を行う。

指標データの公表は、病院ごとの公表を原則としている。

【評価・公表する対象病院の拡大の有無について（拡大する場合には、追加される対象病院の数等を記載）】

平成24年度に、対象対象病院を全DPC病院（50病院）へ拡大した後、平成25年度以降は本会の全病院に拡大することを計画している。

【臨床指標等の改善に向けた取組】

平成24年度同様、専門委員会に設置した作業班にて、「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」の追加や、指標の改良を継続していく。

【その他】

③その他

7. 事業の総括・自己評価（事業全体のまとめ及び自己評価。可能であれば、各協力病院における所見をとりまとめて記載）

平成23年度医療の質の評価・公表等推進事業として、28指標を策定し、本会の250床以上のDPC病院を協力病院として、データの収集、公表を行った。

策定した指標のうち、平成22年度に同事業を実施した国立病院機構の指標を参考に策定した指標は、比較可能とするため国立病院機構の指標定義に合わせることとなった。今後は国立病院機構の指標データと比較を行い、医療の質の改善や指標データの精度の向上等に役立てたい。

また、患者満足度調査は、別紙1による調査を原則としたが病院独自の調査を流用する等にて行われたため、必ずしも調査方法が統一されなかった。平成24年度からは調査方法を統一したい。

指標データの集計は、当初、本会内で行う計画であったが、補助対象事業として、精度の高い指標を作成する必要があること、協力病院の労力軽減を図ること等から信頼のおける外部機関（産業医科大学ヘルスマネジメント有限責任事業組合）に委託することとなった。

指標データの作成は委託先が行うこととなったが、職員のスキルアップについては、DPCデータ等から指標データを作成するスキルや、医療の質の向上に役立つ指標データの活用方法の習得を目的とした勉強会を開催することで対応したい。

28指標データのうち、4指標を平成24年3月30日に、本会のホームページにて公表した。その後、集計の完了した指標から順次公表し、4月27日時点で26指標を公表している。現在公表していない死亡率に係る2指標は6月以降に公表する予定である。

平成24年度以降は、「診療領域別指標」及び「済生会独自の指標」の追加や、現在の指標の改良を行うとともに、対象施設を拡大（本会全病院及び指標データ作成可能な福祉施設）させ事業を継続する。

8. 今後の医療の質の評価・公表の取組に関する提案等（可能な限り具体的に記載）

1. 主要な臨床指標、特に医療の質改善に寄与すると思われる指標を10-20程度選定し、DPC病院全体で公表する。これにより標準化と質向上が全国レベルで期待できる。

2. 今後必要と思われる指標をいくつかの医療団体に試行的に抽出、実測し、医療の質改善につながるかどうかを検討し、可能性があれば標準指標に加えていく。
3. 外来における慢性疾患管理（CKD、DM、高血圧症、高脂血症など）の質指標を抽出し、外来管理の標準化を行い、効果的でエビデンスの高い疾患管理プログラムを策定する。また、こうした慢性疾患での管理状況を表すアウトカム指標、例えば1年後のクレアチニンの値、血圧の推移、HbA1Cの推移、Cho・TGの推移などを測定し、最適な管理法を見いだす。

患者満足度調査 様式

◆入院患者満足度調査（様式）

- ・ 10月1日～31日に退院または転院した入院患者に対するアンケートを実施し、有効回答患者数を評価ごとに記入すること。（患者家族による回答を含む）
- ・ 調査内容「今回の入院に関して満足なさいましたでしょうか。以下の5つからお選びください。」

【10月分】

評価	回答数（10月）
1. 大変満足	
2. やや満足	
3. どちらでもない	
4. やや不満	
5. 大変不満	
総 数	

◆外来患者満足度調査（様式）

- ・ 10月1日～31日の間で外来患者数が平均的な任意の1日の外来患者に対するアンケートを実施し、その有効回答患者数を評価ごとに記入すること。
- ・ 調査内容「今回の外来に関して満足なさいましたでしょうか。以下の5つからお選びください。」

【10月分】

評価	回答数（10月〇〇日）
1. 大変満足	
2. やや満足	
3. どちらでもない	
4. やや不満	
5. 大変不満	
総 数	

医療の質の確保・向上等に関する専門小委員会 名簿 (五十音順)

No.	氏名	役職名	備考
1	石川 仁	山形済生病院 診療情報管理医長	
2	江藤 京子	山口総合病院 看護部長	
3	大山 昇一	川口総合病院 小児科主任部長 (兼)SQMセンターGML	
4	酒井 光博	福井県済生会病院 医事課長代理	
5	塩出 純二	岡山済生会総合病院 副院長 (兼)へぎ地医療支援機構責任者 (兼)臨床研修部長	
6	副島 秀久	熊本病院 院長	委員長
7	多賀 紀一郎	新潟第二病院 手術部長 (兼)麻酔科部長 (兼)戦略企画室リーダー	
8	田中 延善	福井県済生会病院 院長	委員長代理
9	中島 茂	飯塚嘉穂病院 事務部長	
10	松木 大作	吹田病院 経営企画室 企画担当 (兼)診療録管理部病歴管理室室長	
11	松原 了	本部 常任理事	
12	吉田 良二	宇都宮病院 院長	

《オブザーバー》

-	松田 晋哉	産業医科大学 医学部公衆衛生学教室教授	
---	-------	---------------------	--

診療領域別指標策定のための作業班【がん（消化器）】 (五十音順)

No.	氏名	役職名	備考
1	金光 敬一郎	熊本病院 外科部長	
2	塩出 純二	岡山済生会総合病院 副院長	責任者 専門小委員
3	高畑 隆臣	岡山済生会総合病院 外科主任医長	
4	松浦 弘	福岡総合病院 副院長	
5	溝尻 岳	中津病院 外科	
6	宗本 義則	福井県済生会病院 外科部長	

診療領域別指標策定のための作業班【がん（呼吸器）】 (五十音順)

No.	氏名	役職名	備考
1	梶 政洋	中央病院 呼吸器外科部長	
2	小畑 秀登	下関総合病院 呼吸器科医長	
3	小林 弘明	福井県済生会病院 呼吸器外科部長	
4	清水 邦彦	横浜市東部病院 呼吸器内科部長	
5	田島 敦志	宇都宮病院 呼吸器外科診療科長	
6	田中 延善	福井県済生会病院 院長	責任者 専門小委員

診療領域別指標策定のための作業班【虚血性心疾患】 (五十音順)

No.	氏名	役職名	備考
1	石川 仁	山形済生病院 診療情報管理医長	責任者 専門小委員
2	太田 吉実	栗橋病院 地域救急センター長 (兼)循環器科担当部長	
3	武 俊介	野江病院 循環器内科部長	
4	塚原 玲子	横浜市東部病院 心臓血管センター長	
5	中尾 浩一	熊本病院 循環器内科部長	
6	山本 雄祐	福岡総合病院 副院長	

診療領域別指標策定のための作業班【脳卒中】 (五十音順)

No.	氏名	役職名	備考
1	足立 智英	中央病院 内科医長(兼)救急診療科医長	
2	多賀 紀一郎	新潟第二病院 副院長(兼)戦略企画室リター	責任者 専門小委員
3	西 徹	熊本病院 副院長(兼)脳神経外科部長	
4	藤村 直子	八幡総合病院 脳神経外科センター部長	
5	堀江 幸男	富山病院 副院長(兼)脳神経外科部長	
6	吉井 仁	静岡済生会総合病院 副院長 (兼)神経内科部長	

診療領域別指標策定のための作業班【糖尿病】 (五十音順)

No.	氏名	役職名	備考
1	勝森 弘三	川口総合病院 糖尿病・内分泌内科主任部長	
2	島田 朗	中央病院 内科部長(糖尿内科担当)	
3	中塔 辰明	岡山済生会総合病院 内科主任医長 (兼)糖尿病センター長	
4	藤田 延也	宇都宮病院 腎内分泌科医長	
5	吉田 良二	宇都宮病院 院長	責任者 専門小委員

診療領域別指標策定のための作業班
【患者のQuality of Lifeが改善する指標】 (五十音順)

No.	氏名	役職名	備考
1	大久保 直光	水戸済生会総合病院 麻酔科主任部長	
2	荻野 睦	平塚病院 整形外科医長	
3	酒井 章次	横浜市東部病院 呼吸器センター長	
4	清谷 哲朗	済生会本部 特別参与	責任者
5	中村 聡	中央病院 診療担当副院長 (兼)泌尿器科部長事務取扱	
6	縄田 泰史	習志野病院 リウマチ膠原病センター長 (兼)検査部長	
7	福田 丈了	前橋病院 循環器内科部長	

済生会独自の指標を策定するための作業班名簿 (五十音順)

No.	氏名	役職名	備考
1	中島 茂	飯塚嘉穂病院 事務部長	責任者 専門小委員
2	江藤 京子	山口総合病院 看護部長	
3	宇井 考太郎	向島病院 外科医長 (兼)在宅医療支援科長	
4	田嶋 襄	特別養護老人ホーム彩光苑 施設長	
5	松野 勝民	神奈川県病院 医療連携課長	

平成 24 年度追加候補指標

平成 24 年度追加候補指標は以下のとおりであり、医療の質の確保・向上等に関する専門小委員会にて検討し、採用された指標は、平成 24 年 7 月から収集を開始する。

I. 診療領域別指標

1. がん（呼吸器）

○ I 期原発性肺癌手術例における胸腔鏡下手術の実施率

分子：分母のうち、「胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（K514-2\$）」が算定された患者数

分母：肺の悪性腫瘍のステージ I で、「肺悪性腫瘍手術」「気管支形成手術輪状切除術」「胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術」のいずれかを施行した退院患者

○ 肺癌手術患者における術後感染発症率

分子：分母のうち手術日以降に 5 日以上抗菌薬（注射に限る）が処方された患者

分母：肺の悪性腫瘍で、「肺悪性腫瘍手術」「気管支形成手術 輪状切除術」「肺切除術」「胸腔鏡下肺切除術」「胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術」のいずれかを施行し、手術日に抗菌薬（注射に限る）が処方された退院患者。

ただし、以下の場合を除外とする

- ・ 1 入院期間中に異なる手術日が 2 日間以上あるもの
- ・ 退院年月日 - 手術日 ≤ 5 のもの

2. がん（消化器）

○ 胃がん手術 術後在院日数が延びた患者の割合

分子：術後在院日数が 21 日以上の症例数

分母：開腹による幽門側胃切除術を受けた胃癌患者数
（術後補助化学療法施行例は除く。）

○ 大腸がん手術 術後在院日数が延びた患者の割合

分子：術後在院日数が 19 日以上の患者数

分母：開腹による待機的結腸切除術を受けた結腸癌患者数
（イレウスや穿孔など緊急・準緊急手術を除く）

3. 虚血性心疾患

○ door-to-balloon time が 90 分以内の割合

分子：救急外来受診から経皮的冠動脈インターベンション（PCI）開始までの所要時間が 90 分以内の患者数

分母：入院病名が急性心筋梗塞で、救急外来受診から 24 時間以内に心臓カテーテル

検査を実施した退院患者数

○急性心筋梗塞の早期リハビリ実施率

分子：分母のうち、入院3日までに心大血管疾患リハビリテーションが開始された患者数

分母：最も医療資源を投入した入院傷病名が急性心筋梗塞で、心大血管疾患リハビリテーションが実施された退院患者数

4. 脳卒中

○脳卒中患者の平均在院日数

分子：分母対象症例の在院延べ日数

分母：主病名が「脳卒中」の退院患者数

1) くも膜下出血 (160\$) (①JCS30 未満②JCS30 以上)

2) 脳内出血 (161\$) (①JCS30 未満②JCS30 以上)

3) 脳梗塞 (163\$) (①JCS30 未満②JCS30 以上)

※死亡退院患者、転院は除外

※それぞれ重症度別に算出

5. 糖尿病

○糖尿病療養指導士(CDE)一人あたりの外来糖尿病患者総数

分子：糖尿病で外来通院中の患者総数

分母：糖尿病療養指導士(CDE)数

○糖尿病合併症管理料算定者一人あたりの外来糖尿病患者総数

分子：糖尿病で外来通院中の患者総数

分母：対象患者における糖尿病合併症管理料(30分以上の指導)を算定した患者数

6. 患者の Quality of Life が改善する指標

以下の指標の他、QOLそのものを測定できる指標の策定を検討する。

《尿失禁・頻尿・前立腺肥大等》

○BPH 術前 IPSS の実施率

分子：術前90日以内にIPSSを実施した患者数

分母：前立腺肥大症に関する手術ありの退院患者数

○尿失禁術前の ICIQSF 実施率

分子：術前90日以内にICIQSFを実施した患者数

分母：腹圧性尿失禁に関する手術ありの退院患者数

《肺気腫等》

○呼吸器リハビリチームの有無

・呼吸器リハビリチームの”有”又は”無”を集計(チームの構成等は問わない)

○呼吸器リハビリ実施率

分子：呼吸器リハビリを実施している患者

分母：「慢性閉塞性肺疾患」であり、在宅酸素療法を実施している退院患者数

《睡眠時無呼吸症候群》

○Nasal CPAP 装着患者の AHI (無呼吸／低呼吸指数) 改善度

分子：装着治療後 AHI 平均値

分母：N a s a l C P A P を装着した患者の治療前 AHI 平均値

《喘息・膠原病・アレルギー等》

○吸入ステロイド使用率

分子：吸入ステロイドを使用した患者数

分母：C O P D を除く気管支喘息患者数

○関節リウマチ治療における生物学的製剤

分子：分母のうち、生物学的製剤を処方した患者数

分母：関節リウマチ患者数

Ⅱ. 済生会独自指標

【医療施設】

○無料低額診療実施率

分子：無料低額診療患者数（延数）

分母：総患者数（延数）

○無料低額診療相談件数

・無料低額診療相談件数

○MSW職員数

・MSW職員数

○患者（利用者）からの苦情に対する処理割合

分子：回答し処理した苦情件数

分母：総苦情件数

○医療安全管理体制の構築状況

分子：インシデント・アクシデント分類基準がレベル3 A以上のアクシデント件数

分母：インシデント・アクシデント発生件数

【福祉施設】

○福祉施設の低所得者負担軽減利用入所者の割合

分子：低所得者負担軽減制度の利用入所者数

分母：施設入所者数

○患者（利用者）からの苦情に対する処理割合

分子：回答し処理した苦情件数

分母：総苦情件数

○医療安全管理体制の構築状況

分子：分類基準レベル3 A以上のインシデント・アクシデント発生件数

分母：インシデント・アクシデント発生件数

○医療行為が必要な入所者の割合

分子：入所時に、胃瘻、経管栄養、インシュリン、バルーンカテーテル、吸引カテーテルを実施している入所者数の合計

分母：入所者数